

Hokkaido University News

北大時報

平成24年

11

No. 704 November 2012

ザンビア共和国の3大臣が本学を訪問

お知らせ

・附属図書館公式Facebookページ開設のお知らせ





ザンビア共和国の3大臣が本学訪問



イチョウ並木の一般開放

1 女性教員力活用の現状と課題

■ 全学ニュース

- 2 ザンビア共和国の3大臣が本学を訪問
- 3 秋の叙勲に本学から1名
- 4 「北海道大学進学相談会 in 東京・大阪・名古屋」を開催
- 5 平成24年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」を開催
- 6 平成24年度北海道大学レーン記念賞授与式を挙げる
- 6 イチョウ並木の一般開放を実施
- 7 「北海道大学学術成果刊行助成制度」による図書の刊行及び新たに欧文誌の刊行助成
- 8 北大フロンティア基金
- 9 放射線障害防止のための教育訓練及びエックス線障害防止のための教育訓練を実施
- 10 「北海道大学短期留学プログラム(HUSTEP)」,「日本語・日本文化研修コース(日研コース)」及び「日本語研修コース」入学式を挙げる
- 11 北海道大学総長奨励金給付証書並びに北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙げる
- 11 日米イノベーションフォーラムを開催

■ 部局ニュース

- 12 北方生物圏フィールド科学センター耕地圏ステーション生物生産研究農場余市果樹園開設100周年記念事業を挙げる
- 13 メディア・コミュニケーション研究院, 国際広報メディア・観光学院, 観光学高等研究センターが国際シンポジウム「フィルム/コンテンツ・ツーリズムと地域社会」を開催
- 14 総合博物館がタイ王国国立科学博物館と部局間交流協定を締結
- 14 経済学研究科でカンファレンス「Hokkaido & Kyoto Universities Joint International Conference on International Economics & Economic Theory」を開催
- 15 経済学研究科・経済学部で「学部生, 研究生のための大学院ガイダンス」を開催
- 16 薬学研究院で平成24年度医薬品等審査迅速化事業費補助金「ナノテクノロジーを基盤とした革新的医薬品に関する評価方法」キックオフシンポジウムを開催
- 17 農学研究院で平成24年度第2回FD研修会を開催
- 17 本学技術職員組織が, 第5回低温研技術部セミナー及び第5回工作技術フォーラムを開催
- 18 北方生物圏フィールド科学センターで畜魂祭挙げる
- 18 電子科学研究所で一般救命講習を実施
- 19 消防・防災訓練の実施
- 22 函館キャンパスの建物が津波避難ビルに指定
- 22 水産科学研究院が文部科学省において「海」をテーマとする展示を実施

- 23 総合博物館入館者80万人を達成!
- 23 総合博物館で「ミュージアムマイスター」認定式を挙げる
- 24 大学文書館で北大スキー部関係資料を受贈
- 25 大学文書館で宮澤弘幸旧蔵アルバムを受贈
- 26 大学文書館で大学沿革に関する各種資料を収集

■ お知らせ

- 27 附属図書館公式Facebookページ開設のお知らせ

■ 同窓会との交流

- 28 北海道大学教育学部同窓会 平成24年度総会・懇親会
- 28 北海道大学法学部・経済学部同窓会 合同同窓会総会・懇親会
- 28 恵迪寮同窓会 第13回「開識社講演会」
- 29 旭川北大同窓会 平成24年度総会・懇親会
- 29 北海道大学関西同窓会 創立50周年記念事業
- 30 北海道大学栃木同窓会 平成24年度総会・講演会・懇親会

■ レクリエーション

- 31 教職員サッカークラブが公式試合に出場!

■ 諸会議の開催状況 32

■ 学内規程 33

■ 表敬訪問 33

■ 人事 34

- 35 新任教授紹介

■ 訃報

- 36 名誉教授 酒井 昭 氏
- 36 名誉教授 青田 昌秋 氏
- 37 名誉教授 神山 桂一 氏
- 37 名誉教授 田中 達夫 氏

■ 資料

- 38 役職員数(平成24年10月1日現在)
- 39 在籍学生数(平成24年10月1日現在)
- 41 広報誌等一覧(平成24年10月調査)



イチョウ並木のライトアップ(金葉祭)



農学研究院
平成24年度第2回FD研修会



薬学研究院・薬学部
消防訓練



水産科学研究院
「海」をテーマとする展示実施

女性教員力活用の現状と課題

教育研究組織担当理事 じった たかひこ 新田 孝彦



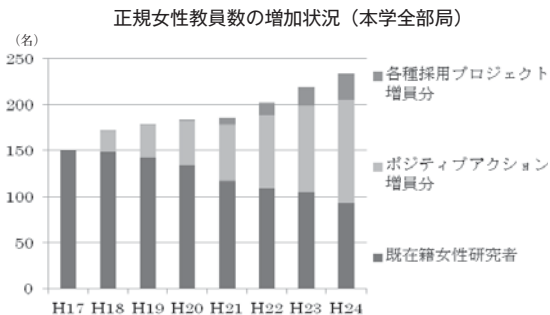
教員は職員と協同し、本学の運営や教育・研究、社会貢献にあたっています。教員がこれらの場面で“教員力”を発揮し活躍することは、大学の存在感を高めることにつながります。また、女性教員の活躍により多様な価値観・考えが生まれ、大学の力がさらに高まっていくと考えます。

昨今、男女共同参画社会の実現が求められています。社会を構成している重要なセクターである大学も例外ではなく、女性教員比率の向上は社会的要請でもあり、本学にとっても重要な課題となっています。

本学の取組

本学は2020年までに本学全研究者に占める女性研究者比率を20%までに高めるという「Triple Twenties計画」を公約し、女性教員・研究者比率を向上させるために、採用からキャリア形成、出産・育児・介護期間までさまざまな取組を行っています。例えば、新たに女性教員を採用した部局にはさらに人件費ポイントを付与するシステム「ポジティブアクション北大方式」、特に女性教員の少ない理系を対象とした各種の採用プロジェクト、女性研究者に対する複数メンター制度、あるいは出産・育児・介護期間における代替・補助人材の派遣や事業所内保育所の設置、病児の一時保育制度などがあります。詳細は女性研究者支援室ホームページ (<http://freshu.ist.hokudai.ac.jp/>) をご覧ください。

こうした取組は下図に見られるように、正規女性教員数の増加という形で成果を上げています。



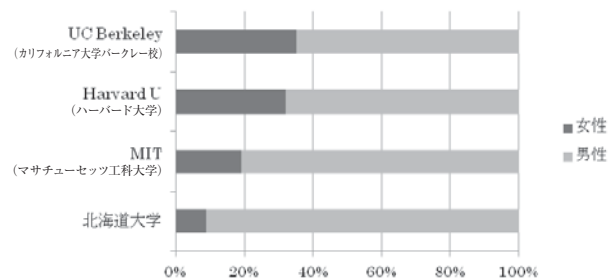
現状

「Triple Twenties計画」は、第4期科学技術基本計画に掲げられた自然科学系女性研究者の採用目標25%と比べてもごく控えめなものです。しかしながら、本学においてはこの目標の達成ですら大変厳しい状況にあります。特に、理系部局、教授などの上位職種に女性教員が少ない状況は

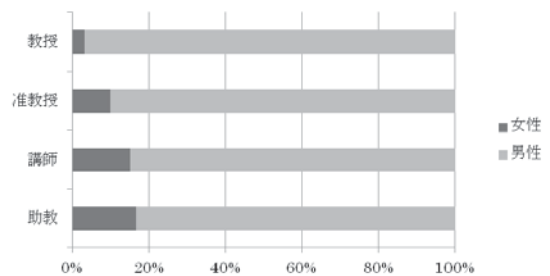
際立っており、国際比較においてはより顕著です。世界大学ランキング最上位校のカリフォルニア大学バークレー校、ハーバード大学、イエール大学は正規女性教員比率が30%を超えており、工学系のマサチューセッツ工科大学でも19%ですが、本学はわずか8%にすぎません。

学内の部局で正規女性教員が20%を超えているのは保健科学研究院とメディア・コミュニケーション研究院のみであり、工学系、環境系、水産系では5%にも達していません。学部や大学院における女子学生比率が27%を超えている現状に鑑みれば、ここには能力差では説明できない社会的障壁が存在していることは明らかです。

世界主要大学における正規女性教員比率



職階別正規女性教員割合 (本学全部局)



課題

女性研究者の増加は、大学に有形無形の好影響を与えるに違いありません。しかし、男女共同参画は、単にメリット論の視点からだけで語られるべき問題ではないでしょう。

男女共同参画社会を実現するためには、ありのままの多様性を含んだ社会や組織が望ましいという理念を共有することこそがもっとも大切なのだと思います。ジェンダー教育なども含めて、長期的な展望のもとでの取組が求められます。

■全学ニュース

ザンビア共和国の3大臣が本学を訪問



懇談後の記念撮影（事務局前）

10月13日（土）、ザンビア共和国のGiven Lubinda外務大臣、Emmanuel T. Chenda農業畜産大臣、Sylvia Masebo観光芸術大臣の3大臣及び政府関係者が本学を訪問されました。今回の訪問は、日本の外務省が行っている国家間の交流促進のための招へい事業として実現したものです。

当日は、本学関係者との懇談、農場と人獣共通感染症リサーチセンターの視察、そして総長主催の夕食会を行いました。

本学関係者との懇談には、本堂武夫理事・副学長をはじめ、獣医学研究科から伊藤茂男研究科長、喜田 宏特任教授及び奥村正裕教授（本学ルサカオフィス所長）、北方生物圏フィールド科学センターから増田 清副センター長、農学研究院から丸谷知己副研究院長、坂下明彦教授、小林国之助教が参加しました。懇談では、本学及びザンビア共和国訪問団からの挨拶、本堂理

事・副学長による本学概要紹介の後、会談が行われました。

また、現在本学で学んでいるザンビア共和国の留学生も同席し、ザンビア訪問団への紹介が行われました。

懇談後、訪問団は農場で水田、牧草地及び牛舎を視察し、人獣共通感染症リサーチセンターで実験室の視察等を行いました。農場では、特に牛舎を関心深くご覧になり、様々な質問をされていました。人獣共通感染症リサーチセンターでは、総勢20名余りの歓迎を受け、和やかな雰囲気のなか、視察されました。

また、当日夜に開催された歓迎夕食会には、佐伯 浩総長や本堂理事・副学長らが参加し、訪問団一行との懇親を深めました。

本学では、ザンビア共和国及びその周辺国との交流を拡大・強化していくために、本年4月に同国ルサカ市に海外オフィスを設置しました。今回の3



記念品を受け取る佐伯総長

大臣及び政府関係者の来訪が、本学をよりよく理解いただく機会となり、同国の教育研究機関等との交流促進につながることを期待しています。

（国際本部国際連携課）

秋の叙勲に本学から1名

このたび、本学関係者の次の1名が、平成24年秋の叙勲を受けることについて、11月3日（土）に発表となりました。

勲章	経歴	氏名
瑞宝単光章	元副看護部長	及川 泰子

同氏の長年にわたる教育・研究等への功績と我が国の学術振興の発展に寄与された功績に対し、授与されたものです。同氏の受章にあたっての感想、功績等を紹介します。

(総務企画部広報課)



おいかわ たいこ
及川 泰子 氏

感想

この度、秋の叙勲に際し、瑞宝単光章の榮に浴することができましたことは、真に身に余る光榮に存じます。このような榮譽に恵まれましたことは、ひとえに北海道大学の職員として永年

勤続させていただきましましたことと、多くの皆さまのご指導ご支援の賜物と心より感謝し、お礼申し上げます。

顧みますと、昭和51年、北大病院に就職し約36年間の永きにわたり、たいへんお世話になりました。最初に配属された第1外科病棟では、夜勤の体調コントロールに苦しみました。また、生後1日目の双子の赤ちゃんを手術直後から保育器内で看護することは、不安と緊張の連続でした。医師とのカンファランスでは日常的に激論を戦わせていたことが懐かしく思い出されます。道内各地から入院される患者さんの退院後の生活が気になり、利尻礼文島を訪ねたこともあります。そんな患者さんとの出会いは、楽しいことや苦しい出来事として心に深く刻まれております。その後、精神神経科病棟・手術部・循環器内科病棟・内科外科総合外来（現医科外来）看護部を経験させていただきました。看護婦長に昇任した年に、新病棟への引越越しがあり、患者・職員共に快適な環境で過ごすことができました。その後も、北大病院がハード・ソフト面で変化していく過程に身を置き、自分自身の成長につながったと感じております。

平成13年、看護部副看護部長となり、院内感染対策、災害・被災対策の体制整備にかかりました。この際、あらためてチーム医療における看護師への期待を確認する機会となりました。夜遅くまでのガイドライン作成は、教授からの差し入れて頑張れたことも懐かしい思い出です。また、平成19年の診療報酬改定では7対1入院基本料取得のために採用した大量の新卒看護師の育成体制整備、平成22年は急性期看護補助加算取得のため看護助手採用と、労務管理に追われた毎日でした。

生涯働き続けられる職業として看護職を選択した私でしたが、周囲の方々にたくさんのご迷惑をかけ続けてまいりました。しかし、厳しい中にも心温かい人々にめぐり会えたことで看護師として少しは成長し、輝くことができたと思います。たくさんの方と信頼関係の中で仕事ができたと、上司や先輩・同僚・後輩の皆さまから胸が熱くなるようなご支援をいただいたことで、定年という形で北大を卒業できましたことに感謝の気持ちで一杯です。さらに、採血のできなかった新人看護師の私を励まし、人生を学ばせていただいた多くの患者さんとの出会いに心から感謝申し上げます。

私を育てていただいた北海道大学へ感謝の念を抱き、現職である社会医療法人恵佑会第2病院においても一層の精進を重ね、社会に貢献してまいりたいと思っております。

これまで、ご指導いただいた皆様、また、この度の叙勲受章のため労をおとりくださいました関係各位に感謝いたしますと共に北海道大学の益々のご発展を祈念申し上げます。

功績等

及川泰子氏は、昭和27年1月5日に北海道磯谷郡蘭越町に生まれ、昭和51年3月に市立室蘭看護学院を卒業後、同年4月北海道大学医学部附属病院に採用され、昭和61年副看護婦長、平成5年看護婦長、平成13年副看護部長を歴任し、平成24年3月に北海道大学を定年退職するまで看護管理・教育の充実にむけて貢献されました。

昭和61年4月、看護実践能力が評価され、手術部・救急部の副看護婦長に昇任すると、日本初の清潔ホール型手術部の管理運営に尽力され、日本手術部医学会で昭和62年「清潔ホール型手術部床表面の汚染原因に関する研究」等数多くの発表をされました。また、看護管理・教育にも積極的にに関わり、平成元年、日本看護研究学会において、副看護師長の管理的視点について「副看護婦長業務に関する一考察」を発表されました。

平成5年4月、これらの実績と看護管理能力が認められ循環器内科病棟の看護婦長に昇任、内科外科総合外来で看護師長を歴任し、看護管理者として患者サービスの質向上とチーム医療の推進に努められました。

平成13年4月、看護管理者として卓越した能力が認められ副看護部長に昇任、業務担当、教育担当、総務担当をそれぞれ経験されました。この間、感染制御部や外来治療センターの設置等に担当副部長として関わり、また、自身が阪神淡路大震災の際に現地に医療チームとして派遣された経験等を生かし、従前の災害対策マニュアルをより実効性の高いものに改訂されました。平成18年度からは本院看護部としては初となる、北海道大学公開講座における開講に熱意を持って取り組み、従来から行われてきた院内研修を、院外にも広く公開しました。平成21年6月の育児・介護休業法の改正に伴い、職員への取得推進や労働環境の整備等に尽力されました。また、日本感染学会推薦の海外研修に参加する等、当院における感染管理確立に大きく貢献されました。

同人は、社会的活動も精力的に行い、日本環境感染学会評議員（平成14年～現在）、日本救急看護学会理事（平成16年～同19年）・評議員（平成14年～同23年）を歴任、平成17年には、第7回日本救急看護学会学術集會会長を担当し、北海道における救急看護をリードし、発展させました。

以上のように同人は、36年の永きに亘り看護管理・教育の充実に尽くし、その功績は誠に顕著であると認められます。

略歴

生年月日	昭和27年1月5日
昭和51年4月	北海道大学医学部附属病院
平成5年4月	北海道大学医学部附属病院 看護部看護婦長
平成13年4月	北海道大学医学部附属病院 看護部副看護部長
平成15年10月	北海道大学医学部・歯学部附属病院 看護部副看護部長
平成24年3月	北海道大学定年退職
平成24年4月	社会医療法人恵佑会第2病院 看護部看護部長

(北海道大学病院)

「北海道大学進学相談会 in 東京・大阪・名古屋」を開催



全体説明会場の様子（東京会場）



全体説明を行う佐伯総長

本学単独主催の学部受験生向け説明会「北海道大学進学相談会」を、10月27日（土）名古屋、翌28日（日）大阪、11月3日（土）東京で開催しました。

本相談会は平成19年度に東京で初開催して以降、今年度で6度目の開催となります。

各会場では佐伯 浩総長、山口佳三理事・副学長をはじめ、各学部やアドミッションセンターの教職員、在学生等、3会場合わせて約100名が高校生や保護者への説明・相談に当たりました。

当日は、総長挨拶を皮切りに、全体説明として山口理事・副学長による本学概要の説明、小内 透アドミッションセンター副センター長による総合入

試についての説明等が行われました。また、全12学部のブース、学生支援相談ブースなどで個別相談対応が行われ、多くの高校生・保護者がブースを訪れていました。

来場者数は名古屋291名、大阪494名、東京1,001名、計1,786名にのぼり、特に東京会場では昨年度を大きく上回る来場者数となりました。

来場者からは、「ホームページやパンフレットから知ることができない情報を聞くことができた」、「先生や北大生と実際に話をして、北大に入学したいと実感した」等の感想が寄せられ、盛況のうちに幕を閉じました。

（アドミッションセンター）



総長・副学長と話そうコーナーで対応する山口理事・副学長



来場者で混み合う個別相談会場



学部ブース



北大生と話そうコーナー

平成24年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」を開催



SD研修参加者での集合写真

10月23日（火）・24日（水）、百年記念会館を会場に平成24年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」を開催しました。本研修は、教育学研究院、高等教育推進機構高等教育研究部生涯学習計画研究部門、総務企画部人事課及び学務部教務課の主催によるものです。

本年度は「大学職員の意識改革とキャリア形成」のテーマのもと、本学職員9名を含む、道内の国公立大学、短期大学、高等専門学校から42名の受講生が参加しました。

1日目は、村田直樹理事・事務局長の挨拶で開会の後、北星学園大学の桐山城太郎氏、鈴木峰子氏から「大学職員キャリアアッププロジェクト『若手職員研修会』の取組み」について、引き続き北海道教育大学釧路校の井上明

香氏から「北海道教育大学釧路校の学務グループ職員のSD研修の取組み」について報告が行われました。

報告の後、受講生が6名ずつのグループになりワークショップを開始しました。ワークショップでは、(1)これまでの研修の体験を踏まえて、どのような研修が役に立ったか、その研修で自身がどのように変化したか、(2)これから研修を企画・実施する場合、どのようなテーマや内容で実施するか、について意見交換が行われました。

1日目の終了後には情報交換会を行い、普段交流することの少ない、他大学や他部局の受講生同士で親睦を深めていました。

2日目は、1日目に引き続きワークショップを行った後、北原和夫氏（東

京理科大学大学院科学教育研究科教授）から、「大学改革の課題と職員に期待される役割」を主題とした講演を行っていただき、今の大学職員に求められる役割や職員像等の話に対して、受講生は熱心に耳を傾けていました。最後にワークショップのグループ毎による成果発表を行い、活発な意見交換が行われました。

事後のアンケートでは参加者の多くが、国公立の様々な機関から、経験・年齢・職種の異なる多様な職員が集まり、他の機関の方と意見交換できる機会が貴重であると感想を述べていました。

（学務部教務課）



東京理科大学 北原氏による講演



ワークショップの様子

平成24年度北海道大学レーン記念賞授与式を挙行



賞状を手に記念撮影



お礼の言葉を述べる受賞者

6月1日（金）、高等教育推進機構中会議室において、平成24年度北海道大学レーン記念賞授与式を行いました。今回は5名が受賞しました。

授与式では山口佳三理事・副学長、高久眞一名誉教授、渡邊 洋名誉教授、外国語教育センターより奥 聡准教授、土田映子准教授、そして村田幸彦学務部長の列席の下、奥准教授から、「レーン記念賞は、戦前から戦後にかけて本学の英語教育にご尽力されたハロルド・M・レーン（Harold M. Lane）先生のご功績を記念して、1965（昭和40）年に設けられたもので、1～2年次の英語成績が優秀で、レーン夫妻の残した国際親善の精神にふさわしい学

生に授与される賞である」との紹介がありました。

次いで、山口理事・副学長から受賞者へ賞状、記念メダル及び図書カードが授与されました。

山口理事・副学長の祝辞を受け、受賞者を代表して文学部の塚田 篤さんから、賞を受けたことへの謝辞が述べられました。

「レーン記念奨学金」として始まった本賞は、平成9年から「レーン記念賞」となり、今回を含め343名の学生に授与されています。

（学務部学生支援課）

受賞者

文学部	塚田 篤
文学部	北村 里沙
理学部	土門 大祐
工学部	梶原 孝則
獣医学部	藤本 悠理

イチョウ並木の一般開放を実施

11月4日（日）、観光客や市民の皆様が安全に黄葉を鑑賞できるように、北13条通りの車両通行を規制して「イチョウ並木の一般開放」を実施しました。

当日は、雨模様の天気となりましたが、約3,800名もの方々が訪れ、黄金色に輝くイチョウ並木を背景に写真撮影するなど、秋の一日を満喫していました。

また、11月3日（土）・4日（日）には、北大元気プロジェクト採択団体が今年度初めて、イチョウ並木のライトアップなどの「北大金葉祭」を実施し、黄葉の鑑賞を盛り上げました。

（総務企画部広報課）



北13条通りのイチョウ並木



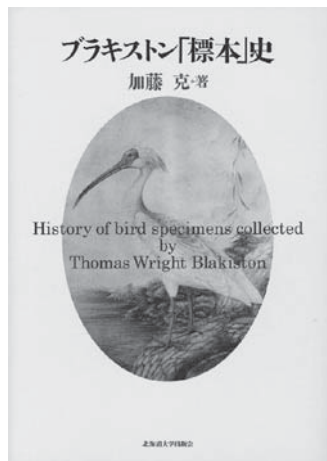
時折晴れ間ものぞき、黄葉を楽しむ方々

「北海道大学学術成果刊行助成制度」による 図書の新刊及び新たに欧文誌の刊行助成

本学では、学術的価値が高く、かつ、独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成20年5月に「学術成果刊行助成制度」を創設しました。

図書の刊行

図書の刊行については、平成23年5月11日（水）から同年8月31日（水）の間で公募を行い、5件の応募の中から2件を採択し、本年9月及び10月に北海道大学出版会から刊行となりました。



ブラキストン「標本」史
加藤 克 著
所属：北方生物圏フィールド科学センター

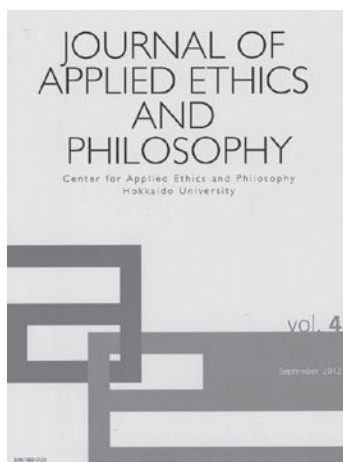


百年戦争期フランス国制史研究
—王権・諸侯国・高等法院—
佐藤 猛 著
所属：秋田大学教育文化学部
応募資格：博士（文学）（北海道大学）

欧文誌の刊行助成

欧文誌の刊行助成については、研究主導型の基幹総合大学として世界水準の研究を遂行する本学において、文系においても海外発信力を強化し、世界的な研究拠点の形成に結びつけたいという佐伯 浩総長の強い発意によって開始しました。

今回は、本年7月9日（月）から同年8月31日（金）の間で公募を行い、募集初年度ということもあり、すでに刊行実績を積み重ねてきた2誌を採択しました。来年度以降も公募を予定していますので、文系部局からの国内外の優れた研究論文を掲載し、本学の存在感を世界に高からしめるような欧文誌の創刊が期待されます。



Journal of Applied Ethics and Philosophy,
Vol.4 (2012)
刊行責任者：真嶋俊造准教授（文学研究科）



Eurasia Border Review,
Vol.3, No.2 (2012)
刊行責任者：岩下明裕教授（スラブ研究センター）

（附属図書館）

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を發揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

募金目標額は50億円です。奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動することとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報	13,646件 2,533,506,672円
基金累計額 (10月31日現在)	教職員の寄附率 29.1% (1,128件/3,878人)

10月のご寄附状況

法人等3社、個人71名の方々から18,066,000円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいているの方々のご芳名、総合博物館への銘板の掲示、感謝状の贈呈について掲載させていただきます。(五十音別・敬称略)

寄附者ご芳名 (法人等)

平岡動物病院, 北大歯学部10期会, 北大スキー部OB会

寄附者ご芳名 (個人)

合川 正幸	愛敬 一幸	虻川 典久	市居 修	稲葉 睦	上田 敦	大塚 沙織	大塚 浩昭
小内 透	小原 大和	角田 敏男	金川 眞行	川瀬 正明	川端 檣子	菅野 勉	菊池 武邦
岸田 勝己	小菅 充	近藤 哲也	桜田 通雄	佐藤 哲	瀬名波栄潤	高杉 朋宏	高橋 光彦
竹内 敏一	竹内 晴香	千川 浩治	土家 琢磨	角田 隆	寺澤 睦	土井 陸雄	豊田 威信
中川 道子	新井田崇子	西 肇	野坂 政司	藤永 徹	藤根 統	松永 晃尚	松本 聡
丸 彰	守屋 守	守屋 亘	山口 佳三	山崎 賢司	吉岡 亨	吉田 広志	

銘板の掲示 (20万円以上のご寄附)

(法人等)

北大歯学部10期会, 北大スキー部OB会

(個人)

中川 道子, 藤永 徹, 守屋 守

感謝状の贈呈



北大スキー部OB会様 (平成24年11月14日)

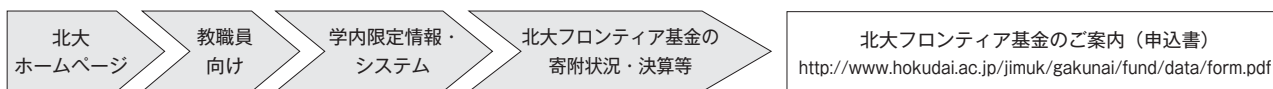


故 守屋 守様 ご遺族
守屋 亘様, 新井田崇子様 (平成24年11月15日)

ご寄附のお申し込み方法

①給与からの引き落とし

申込書は、本学ホームページの「学内限定情報・システム」からダウンロードし、ご記入の上基金事務室に提出してください。



②郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお渡します。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、事務局財務部経理課収入担当にご持参ください。申込書は、本学ホームページから上記①の要領でダウンロードしてご記入いただくか、各局事務担当及び事務局財務部経理課収入担当にご用意していますので、ご利用ください。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室（事務局・学内電話 2017）

（総務企画部広報課）

放射線障害防止のための教育訓練及び エックス線障害防止のための教育訓練を実施

10月15日（月）から17日（水）にかけて、放射性同位元素等の取扱者を対象にした「放射線障害防止のための教育訓練」及びエックス線取扱者を対象とした「エックス線障害防止のための教育訓練」をクラーク会館講堂において開催しました。

この教育訓練は、放射性同位元素等及びエックス線を取扱う際の障害を防止するため、取扱者に必要となる安全な取扱い及び関係法令等についての基礎的な知識等を身につけることを目的として、法令で受講が義務づけられて

おり、毎年度開催されているものです。

今回は、本学の放射性同位元素等管理委員会委員等を講師として講義が行われ、放射線は約180人、エックス線は約50人の参加がありました。

これらの教育訓練は、次年度も実施を予定していますので、新たに放射性同位元素等またはエックス線を使用するにあたり、取扱者登録しようとする方及び更新登録を希望する方は、忘れずに受講願います。

（総務企画部総務課安全衛生室）



会場の様子



幸田敏明委員長の講義



荒木義雄名誉教授の講義



小崎 完准教授の講義

「北海道大学短期留学プログラム (HUSTEP)」, 「日本語・日本文化研修コース (日研コース)」 及び 「日本語研修コース」 入学式を挙行



杉浦留学生センター長による祝辞

本年10月入学の「北海道大学短期留学プログラム (HUSTEP)」, 「日本語・日本文化研修コース (日研コース)」 及び「日本語研修コース」の入学式を、10月10日 (水) 午前9時30分から、情報教育館3階スタジオ型多目的中講義室において行いました。

HUSTEPは、本学の協定校に在籍する留学生に対して原則として英語に

よる授業を実施するプログラム、日研コースは、母国で日本語・日本文化に関する教育を行う学部 に在籍している留学生に対して日本語、日本文化、日本事情に関する教育を行う1年間の研修コース、日本語研修コースは、大使館推薦の国費留学生に対して大学院進学前の予備教育として開設されている6か月間の研修コースで、これには日

韓理工系プログラムの学生が含まれます。今回入学したのは「HUSTEP」に18か国52名, 「日研コース」に14か国35名, 「日本語研修コース」に2か国8名の24か国計95名です。

式では、最初に来賓の方々や教員の紹介が行われ、その後、留学生一人ひとりの名前が読み上げられました。学生は、一人ひとり起立し、来賓の方々や教員、学生に向かって一礼しました。笑顔で挨拶する学生が多く、緊張の中にも、お互いに親しみを感じる機会になったようです。その後、杉浦秀一留学生センター長からの祝辞がありました。

引き続き10時45分より、クラーク会館において外国人留学生のためのオリエンテーションを行いました。大学での事務手続き等の説明のほか、札幌北警察署や札幌国際プラザによる交通安全や札幌での生活についての案内、在校生による簡単な発表などがあり、学生たちは熱心に聞き入っていました。

(国際本部国際支援課)



短期留学プログラム (HUSTEP) 留学生



日研コース留学生



日本語研修コース留学生, 日韓理工系プログラム留学生



オリエンテーションの様子

北海道大学総長奨励金給付証書並びに北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙行

学業成績が極めて優秀で、本学の教育研究等に深い関心を有する私費外国人留学生に支給される北海道大学総長奨励金給付証書並びに北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を、10月18日（木）に国際本部で行いました。

北海道大学総長奨励金は、留学生の質的向上及び受入れの拡充を図ることを目的として平成18年に開始した制度です。大学院修士課程、博士後期課程（医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科にあっては博士課程）、専門職学位課程に入学を希望する者で、協定校に在籍、あるいは協定校を卒業した優秀な外国人学生を給付対象としています。今回の授与式では、対象となる受給者に給付証書が授与されました。

北海道大学私費外国人留学生特待プ

ログラムは、国際的に貢献する人材の育成を目的として平成20年度に開始した制度です。大学院博士後期課程（医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科にあっては博士課程）に入学する私費外国人留学生を対象としており、今回の授与式で採用証書が授与されました。

授与式には、佐伯 浩総長、本堂武夫国際本部長をはじめ、理事、学院長、研究科長、指導教員など関係者が出席しました。佐伯総長より一人ひとりに給付（採用）証書が手渡された後、お祝いの言葉がありました。これからは非がんばってほしいとの激励のメッセージを、受給者は真剣なまなざしで聞いていました。

（国際本部国際支援課）



佐伯総長から給付証書授与



全員での記念撮影

日米イノベーションフォーラムを開催

10月26日（金）、医学部学生会館「フラテ」において、日米イノベーションフォーラムを開催しました。これは、在札幌米国総領事館と産学連携本部が連携した初のフォーラムです。当日は150名近い方が来場され、熱心に聞き入る姿が見られました。

フォーラムは2部構成で行われ、第1部の基調講演では、米国・サンフランシスコのシリコンバレーの今日を築いた立役者の一人として知られるスタンフォード大学のリチャード・ダッシャー教授をお迎えし、「シリコンバレーのイノベーション体系におけるスタンフォード大学の役割」と題して講演いただきました。講演は、シリコンバレーの地域分析から始まり、起業家やベンチャー企業を通じたイノベーション体系と、その中でスタンフォード大学の役割についてなど幅広い内容に及びました。

第2部のパネルディスカッションでは、講演いただいたダッシャー教授に加え、地方独立行政法人北海道立総合研究機構の下小路英男理事、本学医学研究科の白土博樹教授をパネリストに迎え、コーディネーターは産学連携本部の山本 強副本部長が務めました。下小路理事、白土教授の両パネリストは、イノベーションを実践している立場から、これまでの活動の成果について発表を行い、ダッシャー教授から発表に関してのコメントをいただきました。質疑応答の時間には、多数の参加者から手が上がり、活発な意見交換が行われ、参加者の関心の高さがうかがえました。

今回、在札幌米国総領事館と連携した初めての取組みとなりましたが、今後も産学連携本部では、新たな連携事業を企画しながら、幅広い活動を展開していく予定です。

（産学連携本部）



講演中のダッシャー教授



熱心に聴講する参加者

■ 部局ニュース

北方生物圏フィールド科学センター耕地圏ステーション 生物生産研究農場余市果樹園開設100周年記念事業を挙

北方生物圏フィールド科学センターでは、耕地圏ステーション生物生産研究農場余市果樹園（1912（大正元）年設置）の開設100周年を祝い、10月31日（水）に記念講演会・公開討論会及び余市町-本学の交歓会を行いました。

当日は、山田敏彦生物生産研究農場長及び嶋 保余市町長の開会の挨拶に続いて、以下の記念講演会と公開討論会を余市経済センターにおいて行い、参加者から活発に質問や意見が出されました。

交歓会は、ニッカウキスキー余市蒸留所ニッカ会館において開催し、近藤誠司北方生物圏フィールド科学センター長の挨拶に続き、上田一郎理事・副学長、嶋余市町長及び松井博和農学

研究院長から祝辞が述べられ、三上隆理事・副学長による祝杯の後、懇談に入りました。その後、牧野時夫氏（農学部1984卒・余市町在住、有機農園「えこふあーむ」代表）によるヴァイオリン演奏の披露や映像による余市町の紹介が行われ、新藤 修余市町農業協同組合代表理事組合長の乾杯により、盛会のうちに終了となりました。

また、併せて10月27日（土）から11月4日（日）まで、JR余市駅エルラプラザ2階展示ホールにおいて、パネル展「北大果樹園100年を振り返る」を実施しました。

（北方生物圏フィールド科学センター）



八嶽名誉教授による記念講演



公開討論会の様子



近藤センター長による挨拶（交歓会）



祝辞を述べる上田理事・副学長（交歓会）

プログラム

記念講演会「北大余市果樹園の100年」

八嶽 利郎（北海道大学名誉教授（元農場長））

公開討論会「今後の余市町と北大の連携を探る」

司 会：東山 寛（北海道大学農学研究院助教）

話題提供1「2009年協定締結と余市町-北大の連携活動」

荒木 肇（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授）

話題提供2「北大と道内自治体との連携活動」

小林 国之（北海道大学農学研究院助教）

パネリスト：川合 一（指導農業士（トマト農家））

角井 静子（23年度食の安全・安心マイスター）

山本 幸章（余市観光協会専務理事）

小林 国之（北海道大学農学研究院助教）

星野洋一郎（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター准教授）



会場の様子



JR余市駅でのパネル展

メディア・コミュニケーション研究院, 国際広報メディア・観光学院, 観光学高等研究センターが国際シンポジウム 「フィルム/コンテンツ・ツーリズムと地域社会」を開催

10月7日(日), 学術交流会館小講堂を会場に, 国際シンポジウム「フィルム/コンテンツ・ツーリズムと地域社会 Film/Contents Tourism and Local Communities」を開催しました。

「フィルム/コンテンツ・ツーリズム」とは一般に耳慣れないテーマ(概念)かと思いますが, 映画やテレビドラマ, アニメやゲームなどのメディアコンテンツが, その舞台となった場所に新たなイメージを付与し, それが現地への旅行行動を生み出す, そういった新しい形で進展している観光・ツーリズムを指します。

なぜ人はそういったメディアコンテンツの舞台を訪れる旅を行うのか。また地域社会ではこうした現象をどう受け止め, いかなる動きが展開されているのか。今回の国際シンポジウムでは, 国際的に第一線で活躍している国内外の研究者が集い, オーストラリア, ニュージーランド, 日本の事例を読み解きながら, フィルム/コンテンツ・ツーリズムの本質に迫るべく研究発表と議論を行いました。

具体的には, オーストラリア国立

ラ・トロープ大学のスー・ビートン准教授による基調講演「場所と想像力—ファンタジーからリアリティへ」に続き, 須川亜紀子先生(関西外国語大学), フィリップ・シートン先生(本学国際本部留学生センター)の研究発表, さらに山村高淑先生(本学観光学高等研究センター)も加わっての計4名によるパネルディスカッションが行われました。

基調講演でビートン先生は, 映画やドラマなどをめぐるツーリズムの様々な展開を, テーマパーク等とも結びつけながら紹介されました。某超大作映画の「架空の続編」の予告編上映(いくつものハリウッドの大ヒット映画の場面をパロディ化して織り込んだ, いわゆる二次創作)なども織り交ぜてのスピーディな議論に会場は盛り上がりました。その後のシンポジウムでも, アニメやテレビに触発されての戦国ブームと「歴女(れきじょ)」たちの観光行動(須川先生), あるいは大河ドラマとツーリズム, 地域振興との関連(シートン先生)など, 観光・ツーリズムと地域社会とを結ぶ最先端の現

象について, 旧来的なアカデミズムの狭隘なイメージや枠組みを突き崩すような, 清新でダイナミックな研究発表が続きました。最後のパネルディスカッションも, ディスカッションの山村先生が複雑多岐にわたる論点をクリアに整理し, フロアからの熱心な質問も相継ぎ, 充実した討議が実現されました。

また, 翌8日(月・祝)にはメディア・コミュニケーション研究院において, ビートン先生のレクチャーを主軸にした国際ワークショップ「Making the Most of the Movies: Tours and other Business Opportunities / 映画の活用: 観光ツアーとビジネスチャンス」を開催しました。前日に引き続き, 映画やドラマなどのコンテンツに誘発された観光を, ビジネスの側面から光を当て直して議論し, いっそう多面的にフィルム/コンテンツ・ツーリズムのおもしろさと可能性を検討することができました。

(国際広報メディア・観光学院,
メディア・コミュニケーション研究院,
観光学高等研究センター)



パネリストの4氏(会場看板前)



ワークショップでの討論の様子

総合博物館がタイ王国国立科学博物館と部局間交流協定を締結



調印式での記念撮影

9月19日（水）、総合博物館ではタイ王国の国立科学博物館と部局間交流協定を締結しました。

タイ国立科学博物館は、タイ王国における科学教育のセンターとして1995

年に設置され、2000年に開館しました。ラーマ9世博物館、自然史博物館、情報科学博物館などの10部局、職員約120人からなる研究教育機関であり、科学技術、研究開発、生物多様性など

科学に関する知識を普及することを目的としています。総合博物館では2007年4月から2012年3月までの間、タイ国立科学博物館研究員に研究指導を行っており、また、2011年4月にはタイ王国沿岸部で採取された魚類の分類に関する共同調査を行い、約700個体の標本を登録しました。

これらの実績を踏まえ、今後、魚類のみではなく生物全般の共同調査、標本の交換や合同シンポジウムの開催、研究員・学生等の受け入れを通じた教育面での相互交流を行うことを目的に、部局間交流協定を締結することとなりました。本締結により、総合博物館の部局間交流協定数は16件となりました。

調印式には、タイからは館長のPichai SONCHAENG博士ほか7名の方が来日され、総合博物館からは副館長である大原昌宏教授のほか、5名の教員が出席しました。

（総合博物館）

経済学研究科でカンファレンス「Hokkaido & Kyoto Universities Joint International Conference on International Economics & Economic Theory」を開催

9月26日（水）・27日（木）の両日、学术交流会館において、カンファレンス「Hokkaido & Kyoto Universities Joint International Conference on International Economics & Economic Theory」を開催しました。

ミクロ経済学、国際貿易論、ゲーム理論などで数多くの研究をされているプリンストン大学名誉教授のAvinash K. Dixit氏をはじめ、James R. Marksen氏（コロラド大学）、Larry D. Qiu氏（香港大学）、Kaz Miyagiwa氏（エモリー大学）、Jee-Hyeong Park氏（ソウル大学）、Hodaka Morita氏（ニュー



カンファレンス終了後に記念撮影

サウスウェールズ大学), 矢野 誠氏 (京都大学)ら国内外の数多くの経済学者が各自の最新研究を持ち寄り, ユーロのオプション分析, ケニアにおける農業協同保険, 直接外国投資, 自由貿易協定, 知的財産権, 研究開発とスタンダードの設定についてなど, 国際経済及びミクロ経済理論についての興味深い講演が行われました。

日本全国, 世界各地から関連研究分野の経済学者およそ50名が集まり, 講

演会の最中のみならず休憩時間や講演後も活発な意見交換が行われ, 2日間を通して国内外の交流が深まる良い機会となりました。

講演会は京都大学経済研究所と本学経済学研究科主催, 一橋大学共催で開催され, 公益財団法人野村財団及び財団法人杉野目記念会の支援により実現しました。

(経済学研究科・経済学部)



講演するプリンストン大学
Avinash K. Dixit名誉教授

経済学研究科・経済学部で 「学部生, 研究生のための大学院ガイダンス」を開催

経済学研究科・経済学部では, 11月1日(木), 人文・社会科学総合教育研究棟W310教室において, 「学部生, 研究生のための大学院ガイダンス」を開催しました。本研究科教員による経済学研究科並びに会計専門職大学院の説明, 現役大学院生による大学院の魅力や院生生活の紹介, 質疑応答という順でガイダンスが進められました。経済学部生や他大学からの学生など計17名の出席者があり, 熱心に内容に耳を傾けていました。

学生の就職活動における会社説明会などの開始時期が学部3年生の12月と

なりました。本ガイダンスは, 就職活動のスタート目前に実施されたもので, 学部卒業後の進路が就職だけではなく, 大学院進学もひとつの選択肢であることを知ってもらうことを目的としています。

大学院生と学部生が同じ研究室で実験などを行う理系の学生と比較すると, 文系学部生の多くにとって大学院は遠い存在であり, どのようなところなのかについての具体的なイメージが持ちにくいと思います。そこで, 大学院の目的や特徴, 実際の勉学について, 教員と大学院生の双方の視線で情報提

供を行いました。出席者からは, 就学上の疑問点, 受験にどのように取り組むのかなど活発な質問が出され, 大学院への関心の高さをうかがうことができました。この意味でも有意義な場となったと考えています。

学生が, 卒業後の進路をより多面的に考える機会が得られるよう, 経済学研究科・経済学部では今後もこうしたガイダンスを定期的に開催していく予定です。

(経済学研究科・経済学部)



教員による研究科紹介



大学院生による「大学院への道」紹介

薬学研究院で平成24年度医薬品等審査迅速化事業費補助金 「ナノテクノロジーを基盤とした革新的医薬品に関する評価方法」 キックオフシンポジウムを開催



総合討論の様子
(左から荒戸先生、加藤先生、片岡先生、木村先生、原島先生、松村先生)



松田薬学研究院長



玉木医学研究科長

11月6日(火)、薬学研究院臨床薬学講義室において、平成24年度医薬品等審査迅速化事業費補助金として採択された「ナノテクノロジーを基盤とした革新的医薬品に関する評価方法」のキックオフシンポジウムを開催しました。

本シンポジウムは、医薬工連携によるナノメディシンの安全性・有効性に関する評価法の包括的なガイドラインの策定及び国際標準化を目的とした革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業「ナノテクノロジーを基盤とした革新的医薬品に関する評価方法(平成24~28年度)」の実施に際し、これまでのシーズ研究に関する最新知見を紹介するとともに、本プロジェクトの事業計画に関して意見交換を行うことを目的として開催されました。

シンポジウムの開会に際して、松田彰薬学研究院長の挨拶の後、玉木長良医学研究科長より医学研究科において現在進行中のレギュラトリーサイエンスに関連した研究プロジェクトについ

ての紹介と本事業における医学研究科の役割について説明がありました。

その後、本学薬学研究院 原島秀吉教授から「本事業の概要とガイドライン策定のシーズとなる多機能性エンベロープ型ナノ構造体(MEND)に関するこれまでの研究」についての講演があり、東京大学大学院工学系研究科・医学系研究科 片岡一則教授からは、「高分子ミセルに関する研究成果と実用化への展望、課題」等について講演いただきました。

休憩を挟んで、国立がん研究センター東病院臨床開発センター新薬開発分野 松村保広分野長から「抗がん剤内包ミセルのトランスレーショナル研究及び抗体付加ミセルに関する研究」について、東京大学大学院薬学系研究科 木村廣道特任教授から「ナノDDS 医薬のレギュレーションと産業振興」について、国立医薬品食品衛生研究所薬品部 加藤くみ子室長から「工業製品としての医薬品の品質管理とナノメディシンの品質評価に関する課題」に

ついて、本学医学研究科連携研究センター 荒戸照世教授から「レギュラトリーサイエンスが革新的医薬品の実用化に果たす役割」について講演いただきました。

最後の総合討論では、講演を行った先生方と参加者との間で「日本発の革新的医薬品をいかにして実用化へ導くか、そのために何がバリアーとなっているのか」等を中心に活発な討論、意見交換がなされました。

最終的に参加者の総数は101名にもなりましたが、予想を大きく上回る大盛況のキックオフシンポジウムとなり、関心の高さを実感しました。ご多忙の折、遠方よりお越しいただきました参加者の皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

(薬学研究院・薬学部)

農学研究院で平成24年度第2回FD研修会を開催

9月18日（火）午後1時45分から同4時30分まで、農学研究院総合研究棟多目的室W109において、平成24年度第2回FD（ファカルティ・ディベロップメント）企画「Mental Health First Aid 心を病む学生との接し方」を開催し、63名が聴衆として前半の講義を受け、そのうち希望した12名が後半の研修に参加しました。

前半は、橋本直樹先生（保健センター、医学研究科精神医学教室）が、近年増加している心を病む学生に対して教員側がなすべき対応について、わかりやすく解説を行いました。さらに講演後の質疑では、参加教員が直面し

てきた色々な症例に対する対応について答えました。

後半はロールプレイ研修を行いました。橋本先生並びにヘルパーとして加わった2名の臨床心理士（保健管理センター）は参加者のロールプレイをストップしながら、実際の学生との面談形式においてどのような対応がベターなのかについて、適宜有益な助言を行いました。最後に再度質疑タイムを設けましたが、ここでも多くの具体的な質問があり、問題の切実さから、定期的にこの種の研修が必要であると実感しました。

（農学院・農学研究院・農学部）



ロールプレイ研修の説明を行う橋本先生（右）と参加教員

本学技術職員組織が、第5回低温研技術部セミナー及び第5回工作技術フォーラムを開催

9月27日（木）、低温科学研究所講堂において「第5回低温研技術部セミナー」を、翌28日（金）には、工学部アカデミックラウンジ2において「第5回工作技術フォーラム」を、本学工作技術交流会主催・教育研究支援本部共催により開催しました。本フォーラムは、本学の機械工作系の技術職員で組織されている工作技術交流会が企画したもので、今回は、工学研究院の技術職員が幹事となり開催しました。

第5回低温研技術部セミナーでは、高エネルギー加速器研究機構の安島泰

雄氏から「超伝導空洞製造技術開発のための電子ビーム溶接（EBW）基礎試験」と題し、そして長岡技術科学大学の星野英夫氏からは「今さら聞けないドリルの話」と題して講演いただきました。

一方、第5回工作技術フォーラムでは、道内の高等専門学校や室蘭工業大学からの5件の発表を含め、全体で10件の技術発表があり、最後には、工学研究院工学系技術センター長の名和豊春教授が、「研究開発におけるセレンディピティとの出会い」と題して講演

を行いました。

また、今回は施設見学として学内の機械・ガラス工作室の見学を行い、2班に分れ20名の方が参加しました。

2日間ともに、30名を超える学内外の技術職員や研究者が集い、最先端の装置開発等について活発な意見交換が行われ、大変有意義なものとなりました。

（工学院・工学研究院・工学部、低温科学研究所）



小川正人技術専門員による挨拶



低温研技術部セミナーの様子



施設見学の様子

北方生物圏フィールド科学センターで畜魂祭挙行

北方生物圏フィールド科学センター生物生産研究農場では、10月23日(火)午後1時から、アグリフードセンター傍に位置する畜魂碑前において、教育・研究に供された家畜の供養のために畜魂祭を執り行いました。朝からの雨は止んだものの強い風が吹くなか、山田敏彦農場長をはじめとする本センターの教職員、本センターを利用する農学部等の教職員・学生など50名を超える関係者が参列しました。

本センター生物生産研究農場では、自給飼料を主体とする物質循環型の持続的な家畜生産を継続して行っており、様々な教育・研究に用いられてきています。また、家畜用飼料作物の生産から、それらを利用した家畜生産

を行い、得られた生産物を加工して製品を製造するという一連の流れを教育の中心としています。これらの教育・研究活動に対して、多大な貢献をした家畜・家禽に感謝し、その御霊を供養するために毎年畜魂祭を行っています。

畜魂祭では、はじめに山田農場長の挨拶があり、参列者全員で畜魂碑に拝礼しました。その後、中小家畜生産研究施設、酪農生産研究施設、畜産製造施設より、家畜・家禽の飼養頭数や利用実績等の報告があり、最後に山田農場長から、環境に配慮するために我々が務めるべき事柄や、先日ザンビア共和国外務大臣一行が農場を訪問された際のお話があり、豊かである我々の食生活について改めて考えるきっかけと

なったとともに、参列者一同、更に教育・研究の推進や技術の向上を誓いました。

(北方生物圏フィールド科学センター)



畜魂碑



畜魂碑に御神酒を捧げる山田農場長



利用実績等の報告をする職員



山田農場長の話を聞く参列者

電子科学研究所で一般救命講習を実施

電子科学研究所では、10月17日(水)に札幌市北消防署の協力により一般救命講習を実施しました。

講習には、電子科学研究所の教職員・学生及び北キャンパス合同事務部の職員30名が参加し、心肺停止状態の急病人が発生した場合の対処方法について学びました。

当日は参加者を10名ずつ3つのグループに分け、講師として派遣された3名の消防署員の指導の下、人形を使用しての人工呼吸と心臓マッサージ、AED(自動体外式除細動器)の使用法など、約1時間をかけて全員が救命措置の実技訓練を行いました。

受講中、参加者から「小さな子どもにAEDを使用しても大丈夫か」、「急病人が妊婦だった場合には」といった様々な質問がなされるなど、救急救命に対する関心の高さがうかがえました。

北キャンパスの各棟にもAEDは設

置されていますが、今回の講習は、普段触ることのないAEDを直接操作するという貴重な経験となり、大変有意義なものとなりました。

(電子科学研究所)



心臓マッサージとAED使用法の同時実技訓練



消防署員の説明を受ける受講者

消防・防災訓練の実施

薬学研究院・薬学部

薬学研究院・薬学部では、10月10日（水）午後1時30分から、本館2階学生実習室から出火したとの想定で、消防訓練を実施しました。

当日は通報連絡係、避難誘導係、消火係、防護措置係、救護係に加え、教員も避難誘導を担当し、松田 彰薬学研究院長を隊長とした自衛消防隊を組織して訓練が行われました。

今回は所属する学生・職員・教員の全構成員が参加する訓練としました。533名の構成員の参加があった中でも、自衛消防隊との連携により10分43秒で速やかに避難を完了するなど、訓練参加者の防災意識の高さが確認できました。

訓練は札幌市北消防署の協力を得て、一連の進行状況を確認してもらい、最後に講評をいただきました。全体的には、概ね良好との内容でしたが、避難時には煙を吸わないようハンカチ等で口を覆うことも必要との指摘があ

り、今後の課題となりました。

その後、松田研究院長から構成員の防災意識を啓蒙する挨拶があり、全体での消防訓練は終了しました。

全体での避難訓練完了後は、防災設備業者の指導の下、希望者を対象に緩降機による5階からの降下訓練及び避難袋を使用した3階からの降下を行い、参加者及び見学者から好評でした。

（薬学研究院・薬学部）



消火活動訓練をする職員



緩降機で5階から降下訓練する学生

農学研究院・農学部

農学研究院・農学部では、10月16日（火）午前11時45分から、本館1階分野事務室から出火したとの想定で、消防訓練を実施しました。

当日は通報連絡係、避難誘導係、消火係、防護措置係、救護係に加え、教員も避難誘導を担当し、自衛消防隊を組織して訓練が行われました。避難行動においては多くの学生・教職員が真剣に取り組み、訓練に立ち会った札幌市北消防署からも大変良好であった旨の講評がありました。同時に自衛消防隊の行動に対しては、状況に応じた的確かつ迅速な判断、及び被害を最小限に止めるための各種消防設備の使用方法や避難経路の選定等について指摘があり、今後の自衛消防活動への反省点となりました。

この後、防災設備業者の指導の下、消火器による消火訓練、屋外消火栓による放水訓練、救助袋による救助訓練が実施され、学生・教職員の積極的な

参加によりこれら消防設備の操作方法を習得しました。

訓練終了後、松井博和農学研究院長より特に救助袋訓練実演者への労いがあったほか、「今回は大変良い訓練であったが、まずは学生・教職員各自が火災を起こさないよう、特に化学薬品取扱者は十分に気を付けてほしい」旨の挨拶と、最後に札幌市北消防署への謝辞があり、すべての訓練を終了しました。

（農学院・農学研究院・農学部）



消火器を使用した消火訓練



救助袋訓練実演の様子

理学研究院

理学研究院では、10月16日（火）に防災設備業者の協力を得て、消防訓練を実施しました。

当日は、午後12時10分に5号館1階物理支援室から出火したとの想定で、山下正兼理学研究院長を消防隊長とする事務部で構成された自衛消防隊による通報連絡、非常放送、初期消火、避難誘導、救護等の総合的な訓練を、教職員・学生約300名が参加し実施しました。避難終了後には、防災設備業者の指導の下、実際に消火器と屋内消火栓を使用して放水するなどの操作訓練を行い、防火に対する意識の高揚を図りました。

最後に、山下研究院長から訓練参加者及び協力者への慰労の辞と、日頃からの防災に対する意識・心構え・協力体制について要請があり、すべての訓練を終了しました。

（理学院・理学研究院・理学部）



非常放送の様子



消火器操作訓練の様子



自衛消防隊長 山下研究院長からの挨拶

情報基盤センター

情報基盤センターでは、10月17日（水）午前11時から、本センター自衛消防隊による防災訓練を行いました。

今回の防災訓練は、教職員のみならずセンターを利用する学生等も含め約40名が参加して実施され、火災の発生を想定し、通報連絡と避難誘導の訓練に加えて防災設備点検業者による屋内消火栓の取り扱いの説明及び実際に放水する消火訓練を行いました。

参加者は防災意識を新たにするとともに訓練の重要性を再認識していました。また、全国共同利用施設・学内共同利用施設として適切な防災体制を改めて確認することができました。

訓練終了後、高井昌彰情報基盤センター長より日頃からの防災の心構えについて注意喚起があり、訓練を無事終了しました。

（情報環境推進本部情報推進課）



屋内消火栓による放水訓練

工学研究院

工学研究院では、10月19日（金）11時30分から、材料化学系棟1階から出火したという想定で約600人の学生・教職員が参加し、消防訓練を行いました。

今回は、札幌市北消防署から、秋の火災予防運動の一環として化学物質等を扱う建物での火災を想定した合同訓練を行いたいとの申し入れがあり、消防署員約30名、はしご車等消防車両11台が出動するという大規模な訓練を行うことができました。

当日は、まず、工学研究院等自衛消防隊による、連絡通報、避難誘導、初期消火、防護措置、怪我人の救護、重要物品の搬送等の後、到着した消防隊



はしご車訓練の様子



北消防署による屋上からの降下訓練

へのハザード情報・負傷者逃げ遅れ者情報の伝達等の訓練を行いました。

引き続き、自衛消防隊による化学物質検知活動、2階と6階ベランダからの逃げ遅れ者の救出、北消防署員による屋上からの壁面ロープを使った緊急脱出、トリアージ（工学研究院等自衛消防隊から引き継いだ怪我人を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定する）・応急救護等の訓練が行われました。

終了後は、北消防署より「薬品の危険性を再確認し、取り扱いに十分注意して欲しい」との講評をいただき、馬場直志工学研究院長からの「日頃の訓練が避難に役立つので、今後も積極的に消防訓練に参加してほしい」という話の後、水消火器による消火器の操作訓練を行い、一連の訓練を終了しました。

（工学院・工学研究院・工学部）



自衛消防隊による怪我人の救出

獣医学研究科

獣医学研究科では、10月23日（火）午前11時30分から、S棟2階生化学実験室から出火したとの想定で消防訓練を実施しました。

今回の訓練は、本研究科自衛消防隊を主体とした通報、避難誘導、初期消火等の訓練であり、非常時における学生・教職員等の安全確保を図ることを目的とし、約150名が参加して行われました。

訓練は、自衛消防隊各班ごとの訓練計画に基づいた職務分担に従って行われました。

訓練終了後に、伊藤茂男獣医学研究科長から講評が行われ、非常時及び日常の防火に対する心構え等について再確認があり、訓練の重要性と防火意識を改めて見直しました。

（獣医学研究科・獣医学部）



伊藤研究科長の講評

歯学研究科

歯学研究科（大学病院歯科診療センターを含む）では、10月30日（火）に平成24年度第2回防災訓練を実施しました。

今回の訓練は歯科診療センターC棟2階咬合系A診療室からの出火を想定し、学生・職員等（大学病院職員を含む）約150名が参加して行われました。

火災発生後、直ちに自衛消防隊長である鈴木邦明歯学研究科長の指揮により、通報連絡係、避難誘導係、消火係の各担当に分かれ、現場の確認、消防

署への通報、非常放送、避難者誘導、消火活動等が実施されました。

訓練終了後、鈴木研究科長及び飯田順一郎副病院長から「今回の訓練はスムーズに行動できた。東日本大震災の時も普段訓練をしていたかどうかで大きな差が出たので、災害時にはこの訓練を思い出して行動してほしい」との講評がありました。

（歯学研究科・歯学部）



飯田副病院長からの講評



消火作業の様子



自衛消防隊本部への報告



鈴木研究科長からの講評

函館キャンパスの建物が津波避難ビルに指定

水産科学研究院と函館市は、10月31日（水）付けで「津波時における津波避難ビルとしての使用に関する協定」を締結しました。

この協定は、津波発生時に地域住民が一時避難するための施設として、函館キャンパスの建物を提供するために締結されたものです。

津波避難ビルとして指定される建物

は、3階建て以上の鉄筋コンクリート造等に限られており、函館キャンパスが立地している港町付近には要件を満たす建物が少ないことから、本協定の締結は、地域社会に対してさらなる貢献を果たしてくものと期待されます。

今回の協定締結により、函館キャンパスにある建物のうち、管理研究棟の3～5階の廊下・ゼミ室及び実験研究

棟3階の廊下・ゼミ室の計1,020㎡程度が一時避難施設として提供されることとなります。

なお、10月31日現在では、本研究院を含めて計12施設が函館市の津波避難ビルとして指定を受けています。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）

水産科学研究院が文部科学省において「海」をテーマとする展示を実施



大型ディスプレイと成果品による展示の様子



展示品の前で
安井教授（左）と
函館キャンパス事務部 川上 豊事務長（右）

水産科学研究院では、文部科学省2階エントランス広報スペースにおいて、10月15日（月）から「マリンバイオクラスターにおける研究開発・北方海洋生物資源が生む新しい価値創出と人材養成～海の恵みと価値の創造」をテーマに展示を行っています。同スペースでは、大学や研究機関等における研究成果が展示されており、本学から本研究院が展示を行うこととなったものです。

今回の展示では「函館マリンバイオクラスター事業」による①計測・予測（海洋空間情報を活用した沿岸生物

相・水圏環境の健全化と高次活用の両立）、②持続的生産（高機能性物質を含有する北方系メガベントス*の自立型バイオファーミング）、③高機能化（メガベントスの生物特性を活かした高機能資源創出のための研究開発）、④ブランド形成（食と健康のグローバル・スタンダード構築のための研究開発）の4つのテーマと、「新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成」事業によるひとつづくりを結びつけた産業の活性化など地域振興への取組を大型ディスプレイで展示するとともに、安井 肇教授が中心となって進めた「が

ごめ昆布」の研究によって生まれた食・健康・美容といった生活に身近な製品が展示されています。

来年3月まで予定されている本展示は、本学の様々な取組のひとつである本研究院の展示を文部科学省を訪れた方々にご覧いただき、本学への理解を深めていただけるものとなっています。

*北方系メガベントス
北海道沿岸域に生育する大型底生生物（魚貝藻類）の総称

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）

総合博物館入館者80万人を達成!

この度、総合博物館開館以来の入館者が累計80万人に達し、10月6日(土)に記念セレモニーを行いました。

80万人目の来館者は、学术交流会館で開催された日本気象学会2012年秋季大会参加者である九州大学大学院修士課程1年 尾堂深南さんです。尾堂さんは同じく学会に参加した本学修士課程1年の光岡昇平さん、幸田笹佳さん、千葉大学大学院修士課程1年の河上聖さん、名古屋大学大学院修士課程1年の田井わかさんと一緒に来館し、津曲敏郎総合博物館長から記念品としてオリジナルグッズが贈呈されました。セレモニーの司会進行はHOKUDAIミュージアムマイスターの学生が担当し、展示物や博物館についての印象、80万人目に選ばれた感想などをインタビューしました。

(総合博物館)



記念セレモニーの様子

総合博物館で「ミュージアムマイスター」認定式を挙行

総合博物館では、10月6日(土)に「HOKUDAIミュージアムマイスター」認定式を行いました。

「ミュージアムマイスター」認定コースは、平成21年度より総合博物館で実施されている教育プログラムです。「導入科目」「ステップアップ科目」「社会体験型科目」に配置された科目において各4クレジット、合計12クレジット以上取得することを修了要件とし、さらに基準GPAによる基礎学力(平均点以上)を加味し、「ミュージアムマイスター」を認定するものです。認定に際しては、総合博物館教員による面談が行われ、コミュニケーション能力も審査されます。

今回認定されたのは、三嶋 渉さん(理学部3年)と山本大貴さん(理学部3年)の2名です。認定式は総合博物館1階「知の交流」コーナで行われ、総合博物館教職員が見守るなか、

津曲敏郎総合博物館長から新マイスターに認定証が授与されました。2人は早速、マイスターの初仕事として同日に行われた総合博物館入場者累計80万人達成記念セレモニーで司会を務め、式の進行のほか来館者へのインタビューも行い、セレモニーを盛り上げました。

現在、ミュージアムマイスター認定コースには106名が登録しており、ミュージアムマイスターを目指して講義や学生参加プロジェクトなど、様々

な活動に参加しています。また、マイスターとなった学生達も、セミナーやイベントでの司会など、新たな取り組みに挑戦し活躍の場を広げています。

「ミュージアムマイスター」認定コースの概要、プロジェクトの詳細はホームページでも紹介していますので、こちらも併せてご覧ください。

◆<http://www.museum.hokudai.ac.jp/education/index.html>

(総合博物館)



認定証授与の様子



津曲館長(中央)と新マイスターの学生

大学文書館で北大スキー部関係資料を受贈

10月21日（日）、30日（火）、大学文書館は、北大スキー部OB会から、北大スキー部関係資料の寄贈を受けました。

受贈した資料は、戦前の北大スキー部の『部報』、1939（昭和14）年創刊以来の北大スキー部OBクラブの『会報』、日本山岳会や他大学スキー部・山岳部の機関誌、海外のスキー雑誌・技術書、古くは1907（明治40）年刊行の関係書籍、その他、優勝カップ、表彰状、スキー指導員証明書など、11箱、約250点です。

北大スキー部は、1912（大正元）年

創部で今年が100周年に当たります。特に戦前期、全国大会で優勝する選手を何名も輩出するなど、日本のスキー競技をリードした歴史ある運動部です。本学の教員には、スキーを広めたハンス・カラー（ドイツ語）、ノルウェー式の2本杖スキーを伝えた遠藤吉三郎（海洋生物学）、全日本スキー連盟の創設や冬季オリンピック招致などに携わった大野精七（産婦人科学）などがいました。本学と北大スキー部は、日本におけるスキー普及とスキー技術の向上に大きな役割を果たしてきました。

この度、受贈した資料は、こうした本学と北大スキー部の歴史を示す、非常に貴重なものです。北大スキー部OB会では、これまでこれらの資料を整理・保管されてきましたが、今後、スキー部関係者や関心のある方々が広く利用できるように、竹内恒夫氏を中心にご奔走くださり、大学文書館にご寄贈いただくことになりました。

大学文書館では、大切に所蔵し、広く利用に供してまいります。

（大学文書館）



北大スキー部蔵書類



秩父宮盃

大学文書館で宮澤弘幸旧蔵アルバムを受贈

10月24日（水）、大学文書館は、秋間美江子氏から、宮澤弘幸旧蔵アルバムの寄贈を受けました。秋間美江子氏は宮澤弘幸のご令妹です。当日、ご同伴の山野井孝有氏、山本玉樹氏と来館された秋間氏は、新田孝彦大学文書館長（理事・副学長）、白木沢旭児大学文書館副館長（文学研究科教授）に直接、アルバムをお渡しくださいました。

宮澤弘幸は1919（大正8）年東京に生まれ、1937（昭和12）年4月、北海道帝国大学予科工類に入学し、1940年4月に工学部電気工学科に進学しました。在学中は、登山、スキー、旅行、満鉄の調査団への応募参加、海軍の軍艦便乗など、行動力に溢れた活動を続けました。また、英語教師のレーン夫妻やドイツ語教師ヘッカー、イタリア人留学生マライニなどと深い親交を結びました。

しかし、アジア・太平洋戦争開戦の

1941年12月8日、工学部2年生であった宮澤弘幸は、レーン夫妻とともに軍機保護法違反すなわちスパイ容疑で逮捕され、1943年5月に宮澤の懲役15年が確定しました。いわゆる宮澤・レーン事件です。宮澤弘幸はGHQの指令で釈放される1945年10月まで服役し、苛酷な拘禁生活がもとで1947年2月に逝去しました。

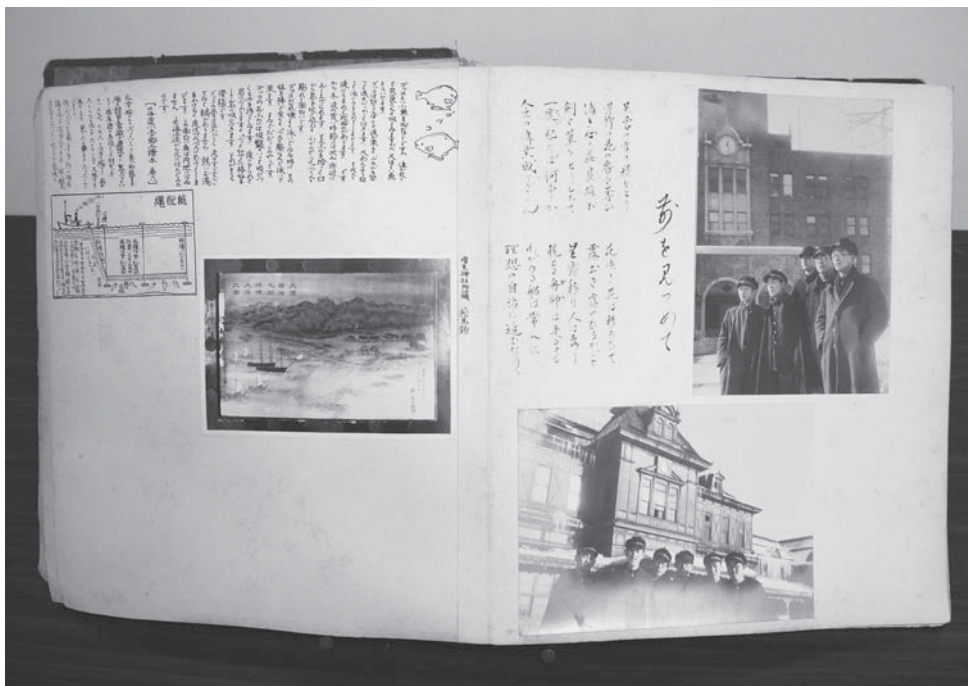
その後、弁護士上田誠吉（1926-2009年）が、『戦争と国家秘密法』（イコォリティ、1986年）、『ある北大生の変難』（朝日新聞社、1987年）、『人間の絆を求めて』（花伝社、1988年）などの著書で、宮澤・レーン事件の全貌を解明し、宮澤弘幸が冤罪であったことを明らかにしています。

この度、ご恵贈いただいた宮澤弘幸旧蔵アルバムは、宮澤自身が、予科修了を記念し、1937年4月から3年間の予科在学時代の自身の足跡を、写真を

中心に絵葉書・チラシや自筆の地図・挿絵を交えて、達筆な文字で詳細な解説文を添えて編集したものです。アルバムは、宮澤の好奇心旺盛な人柄とともに、当時の予科生の学生生活を生き生きと記録した大変貴重な資料です。

秋間氏はアルバムを寄贈される際、宮澤弘幸が北大を退学処分となっていることに言及され、また、事件後にご家族・ご遺族として辛い思いを抱かれ続けたことをお話くださいました。大学文書館では、こうした秋間氏のご心情を大切に受け止め、寄贈資料を所蔵してまいります。また、昨秋受贈した上田誠吉旧蔵資料とともに閲覧公開・展示等を通じて広く紹介し、本学の歴史の中に宮澤・レーン事件をしっかりと位置づけてまいりたいと考えています。

（大学文書館）



宮澤弘幸旧蔵アルバム

大学文書館で大学沿革に関する各種資料を収集

10月22日（月）、大学文書館は、山崎貞子氏からご尊父である彫刻家 田嶋碩朗^{たじませきろう}の写真をご提供いただきました。札幌彫塑研究所（札幌市南7条西16丁目）の建物、製作工房における田嶋碩朗など7点の写真です。

田嶋碩朗は、1926（大正15）年、北大創基50周年を記念したクラーク胸像を製作しました。ところが、中央ロンの一隅に設置されたこのクラーク胸像は、1943（昭和18）年に戦時の金属類徴収令により金属供出のため撤去、熔解されました。戦後、本学では、戦後の新しい出発のシンボルとしてク

ラーク胸像再建計画が持ち上がり、1948年、田嶋製作の石膏原型を基に別の彫刻家が胸像を復元し、現在に至っています。

また、10月29日（月）には、原彰彦名誉教授から『寮歌集』（北海道帝国大学恵迪寮、1930年5月発行）をご寄贈いただきました。『寮歌集』は原名誉教授のご尊母である原道子氏の旧蔵品です。道子氏が北大生であった兄の碓山昇氏（理学部化学科1938年卒業）から受け継いだものと思われます。また、道子氏のご祖父にあたる碓山晋も札幌農学校の助教を務めてい

ました。原名誉教授はご尊母が縁深い北大の寮歌を愛唱されていた思い出もお持ちだそうです。

大学文書館では、本学関係者の写真類や『寮歌集』をはじめとした沿革刊行物など、これら大学沿革に関わる資料を収集しています。あわせてそれぞれの資料にまつわるエピソードも記録し、北海道大学の歴史記述を豊かにしていきたいと考えております。資料等の情報がありましたら、ぜひ大学文書館へご一報ください。

（大学文書館）



田嶋碩朗、札幌彫塑研究所製作工房にて（1930年代）



原道子氏旧蔵『寮歌集』

■ お知らせ

附属図書館公式Facebookページ開設のお知らせ

附属図書館では10月1日（月）より、情報発信の新たな手段として公式Facebookページを開設しました。Facebookは世界最大の会員数を有するSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）です。これを活用し、利用案内やイベント情報を図書館利用者へリアルタイムに発信しています。

開設して1か月後の11月1日（木）には本学の学生などからの「いいね！」数が430を超え、今後さらに多くの利用者に情報が伝わるよう運営していきます。Facebookに登録していない方も閲覧できますので、ぜひ以下のURLを一度覗いてみてください。

◆ 附属図書館公式FacebookページURL <http://www.facebook.com/hokudailibrary>



附属図書館公式Facebookページの表紙



投稿の一例

（附属図書館）

■同窓会との交流

北海道大学教育学部同窓会 平成24年度総会・懇親会

10月6日（土）、同窓生が経営する中国料理「満漢楼」（札幌市中央区）において、北海道大学教育学部同窓会「平成24年度総会・懇親会」が開催されました。今年度は、本学で開催したホームカミングデーに合わせ開催されたこともあり、遠くは大分県別府市からの同窓生も出席し、総勢27名の参加となりました。

総会では、竹田正直教育学部同窓会長の挨拶に続いて、会務報告等があり、全会一致で承認されました。

懇親会は多米 豊教育学部同窓会前会長の乾杯の音頭で始まり、学部を代表して水野眞佐夫教授による学部の近況報告のほか、参加者全員の近況やエピソードなどのスピーチがあり、予定の時間を大幅に超過して和やかに行われました。



総会・懇親会の様子

写真提供：教育学部同窓会

北海道大学法学部・経済学部同窓会 合同同窓会総会・懇親会

10月6日（土）、中央食堂において、ホームカミングデー行事の一環として北海道大学法学部・経済学部同窓会「合同同窓会総会・懇親会」が行われ、約100名の同窓生が参加して盛大に開催されました。総会・懇親会の司会は経済学部の卒業生である北海道放送株式会社（HBC）の船越ゆかりアナウンサーが務め、総会の後、懇親会が行われました。

懇親会は、上野昌美経済学部同窓会長の開会挨拶の後、相馬秋夫法学部同窓会長の乾杯の音頭で始まりまし

各テーブルは年代や学部を超えて旧交を温める和気藹藹の熱気に包まれました。最後は恒例の「都ぞ弥生」大合唱で締め、お互い翌年の再会を約束し、

懇親会が終了しました。

なお、大学から三上 隆理事・副学長が出席しました。



挨拶する上野経済学部同窓会長



多くの参加者

写真提供：経済学部同窓会

恵迪寮同窓会 第13回「開識社講演会」

札幌農学校からの伝統を受け継ぐ、恵迪寮同窓会主催の「第13回開識社講演会」が、10月11日（木）に札幌市時計台2階ホールで開催されました。

今回の講演会では、北海道地質調査業協会技術アドバイザーの石井正之氏（理学部地質鉱物学科・昭和42年卒）が、「おらが街“サッポロ”再発見～地形・地質条件と北都の発展～」を

テーマに講演を行いました。札幌周辺の地形学・地質学を検証しながら、明治政府によって現在の位置に築かれた札幌の市街地や札幌農学校構内がどのような発展過程を辿ったのかを解き明かし、詰めかけた約80人の市民や大学関係者・同窓会員らは熱心に聴き入っていました。



講演する石井氏

写真提供：恵迪寮同窓会

旭川北大同窓会 平成24年度総会・懇親会

10月23日（火）、旭川市内のホテルにおいて、旭川北大同窓会「平成24年度総会・懇親会」が開催され、近郊から103名が参加しました。

総会では、来賓として出席した三上隆理事・副学長が挨拶し、「新渡戸カレッジ」の創設について詳しい説明を行いました。また、北海道獣医師会会長の波岸裕光氏（獣医学部、昭和34年卒）が、獣医師の社会貢献について講演しました。

最後は全員で一つの輪になって「都ぞ弥生」を歌い、懇親会が終了しました。



挨拶する三上理事・副学長



肩を組み「都ぞ弥生」斉唱

写真提供：旭川北大同窓会

北海道大学関西同窓会 創立50周年記念事業

10月28日（日）午後2時から同8時まで、新大阪の「メルパルク大阪」において、北海道大学関西同窓会「創立50周年記念事業」が3部構成で開催されました。

第1部の記念講演会では、鈴木章名誉教授の本学での生涯をモチーフにした短編映画「緑の足跡 one step at a time」（北大ショートフィルム制作委員会）が最初に上映され、その後、札幌から参加された村井章夫名誉教授が、鈴木名誉教授の業績をわかりやすく紹介しました。続いて、鈴木名誉教授が、「ノーベル化学賞を受賞して」と題し、講演を行いました。一般の方も含め330人の参加者全員が、鈴木名誉教授のノーベル化学賞受賞の感激に再度浸り、高校2年生の女子学生からの「どのように勉強すれば、化学のテストで良い点数を取ることができるか秘訣を教えてください」との質問の際には、会場から微笑ましい拍手が起きました。

第2部は同窓生が出席して記念式典と総会が行われ、関西同窓会の基盤を確立された功労者5名の方に表彰状と記念品が贈られました。各方面からの

祝電のほか、宇宙飛行士の毛利衛氏からはビデオメッセージが寄せられました。

第3部の記念祝賀会には180名が参加し、北大合唱団関西OB会の合唱で幕が開き、来賓の佐伯浩総長をはじめ、東京同窓会石山喬理事長、室蘭工業大学関西蘭岳会音羽和俊会

長、ブラジル北海道大学同窓会本橋幹久会長から、お祝いの言葉が述べられました。

記念祝賀会には平成卒業の若い方々も多数参加し、年代を超えて親睦を深めていました。最後は全員で肩を組み、恒例の「都ぞ弥生」を斉唱し、成功裡に創立50周年記念事業が終了しました。



挨拶する遠藤彰三関西同窓会長



記念講演を行う鈴木名誉教授



記念式典・総会の様子（鈴木名誉教授と来賓の方々）



挨拶する佐伯総長

写真提供：関西同窓会

北海道大学栃木同窓会 平成24年度総会・講演会・懇親会

11月11日（日）、栃木県宇都宮市内のホテルにおいて、北海道大学栃木同窓会「平成24年度総会・講演会・懇親会」が開催され、県内の同窓生約60名が参加しました。

総会では、小菅 充栃木同窓会長（農学部・昭和31年卒）から挨拶があり、引き続き講演会が行われました。講演会では、ほうずみ整形外科院長の宝住与一氏（医学部・昭和39年卒）が、「中高年の健康管理について」をテーマに講演を行いました。参加者の多くにとって興味深い話題であり、皆熱心に聞き入っていました。

また、大学から出席した三上 隆理事・副学長が挨拶し、エピソードを交えた本学の近況や、今年度初めて開催した「ホームカミングデー2012」などについて詳しく説明しました。



小菅栃木同窓会長の挨拶

写真提供：栃木同窓会

懇親会では、参加者の自己紹介を兼ね、参加者同士で「全員握手15秒あいさつ」が行われ、親交を深めていました。最後は全員で一つの輪になって「都ぞ弥生」を歌い、懇親会が終了しました。



講演する宝住氏

（以上、総務企画部広報課）

北大時報No.702（平成24年9月）P.30「同窓会との交流」の記事掲載において、最終原稿の確認に不十分な点がありました。関係各位にお詫びするとともに以下のとおり再掲いたします。

広報担当理事 三 上 隆

愛媛エルム会 第4回総会開催

愛媛県在住の同窓生は把握されている限りでは171名（2012年7月）です。愛媛エルム会（会長 松村 境、S50 獣医）では、毎年夏に総会・懇親会を、冬に幹事会・懇親会を開催しています。総会、幹事会ともに参加者は毎回ほぼ30～40人です。本会の場合、懇親会は同窓生に限らず、元北大職員や論文博士を北大で授与された人など、北大に縁のある方々の参加を歓迎しています。

今年の総会は8月17日（金）に理事・副学長の三上 隆さんを迎えて、道後山の手ホテルで行なわれました。昨年からは、総会の前に講演会を行なっていますが、今年は愛媛大南予水産研究センター教授の三浦 猛さん（S60水産）が、氏の北大での研究である、脊椎動物では世界で唯一、試験管内で魚類の精原細胞から泳ぐ精子までを作る技術

について講演しました。一般の方々には日頃接することの少ない内容でしたが、基礎生物学での北大の底力を示す内容に会員たちは熱心に耳を傾けており、質疑も活発で、さながら学会のようでした。

懇親会では北大談義、最近の事情などで盛り上がり、最後は恒例の幹事長発声の前口上に続く都ぞ弥生の大合唱で幕を閉じました。

本会では、一昨年から北大生の愛媛県内への就職の橋渡しなども活動項目としていますが、まだ実績はありません。今後北大から愛媛県への人材流入を盛んにし、本会の活動も活発にしたいと思っています。

文責・愛媛エルム会幹事長
鈴木 聡（S55水産）



三浦 猛さんの講演



円陣を組んで「都」を歌うゾ！

レクリエーション

教職員サッカークラブが公式試合に出場!

平成24年度 第42回札幌社会人サッカーリーグに出場

4月29日(日)～9月16日(日)の日程で開催された「平成24年度 第42回札幌社会人サッカーリーグ」に出場しました。最上位のSリーグからCリーグ3部まで、全14部・131チームで構成されるリーグ戦で、教職員サッカークラブは今年度初参加のため、一番下のカテゴリーであるCリーグ3部に所属し、4勝3敗1分の2位で全日程を終えました。対戦成績は以下のとおりです。

4月29日(日)	教職員サッカークラブ	1-5	みっかぼーいず
5月6日(日)	教職員サッカークラブ	1-4	GRITTER's
5月20日(日)	教職員サッカークラブ	1-1	F.C.ハッスル
6月24日(日)	教職員サッカークラブ	3-2	AFCアヤックス
7月1日(日)	教職員サッカークラブ	0-1	みっかぼーいず
7月8日(日)	教職員サッカークラブ	2-0	GRITTER's
8月19日(日)	教職員サッカークラブ	2-1	F.C.ハッスル
9月16日(日)	教職員サッカークラブ	1-0	AFCアヤックス

出だして2連敗とつまづきましたが、3戦目以降守備を修正し、何とか2位になることができました。来年度は1つ上位のリーグに昇格し、Cリーグ2部での戦いになる予定です。

第27回 札幌リーグカップ

9月23日(日)～11月11日(日)の日程で開催された「第27回 札幌リーグカップ」に出場しました。札幌社会人サッカーリーグに付随するトーナメント戦で、65チームが参加しました。教職員サッカークラブは、上位リーグに所属するチーム相手に健闘しましたが、惜しくも2回戦敗退となりました。対戦成績は以下のとおりです。

9月30日(日)	教職員サッカークラブ	2-0	サリーレ札幌(Bリーグ3部所属)
10月7日(日)	教職員サッカークラブ	1-4	C-BLAST(Aリーグ3部所属)

これで、今年度の外サッカーは全日程を終了しました。今後はフットサルの大会に参加する予定です。



試合後の集合写真

(教職員サッカークラブ)

■ 諸会議の開催状況

経営協議会（平成24年10月3日）

- 議 題・総長選考会議委員の選出について
報告事項・職員の給与の削減支給について
- ・大型プロジェクトの進捗状況等の報告について
 - ・平成25年度概算要求について
- そ の 他・退職手当の支給水準引下げについて
- ・平成24年人事院給与勧告について
 - ・2011年度環境報告書について
-

役員会（平成24年10月9日）

- 議 案・平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書の作成方針等について
協議事項・教育・研究従事者に対する改正労働契約法の対応について
報告事項・次期総長候補者の選考日程等について
- ・農学研究科の廃止について
 - ・平成24年度博士課程教育リーディングプログラムの選定結果について
 - ・創成研究機構URAステーションの設置について
 - ・グローバル人材育成推進事業の採択結果について
 - ・大学の世界展開力強化事業の採択結果について
 - ・平成23事業年度財務諸表の承認について
-

教育研究評議会（平成24年10月17日）

- 議 題・総長選考会議委員の選出について
報告事項・次期総長候補者の選考日程等について
- ・北海道大学ホームカミングデー2012について
 - ・農学研究科の廃止について
 - ・創成研究機構URAステーションの設置について
 - ・全学運用教員の措置について
 - ・平成25年度概算要求について
 - ・平成23事業年度財務諸表の承認について
 - ・大学間交流協定の新規締結について
 - ・グローバル人材育成推進事業の採択結果について
 - ・大学の世界展開力強化事業の採択結果について
-

役員会（平成24年10月22日）

- 議 案・平成25年度年度計画の作成方針等について
- ・外来新棟整備事業について
 - ・平成24年度中期目標達成強化経費第三次決定事業について
- 協議事項・非正規職員の雇用年数等の見直しについて（教育・研究従事者及び病院の診療等従事者を除く）
報告事項・創成研究機構による時限付き構成組織の評価結果について
- ・資金の運用状況について（平成24年度上半期）
-

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しております。

■ 学内規程

国立大学法人北海道大学総長の任期に関する規程の一部を改正する規程

(平成24年10月15日海大達第109号)

総長の任期について、在任期間を明確にすることに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程

(平成24年10月17日海大達第110号)

国立大学法人北海道大学公印規程の一部を改正する規程

(平成24年10月17日海大達第112号)

本年9月30日付けで大学院農学研究科が廃止されたことに伴い、所要の改正を行ったものです。(平成24年10月1日適用)

国立大学法人北海道大学における公益通報の処理及び公益通報者の保護等に関する規程の一部を改正する規程

(平成24年10月17日海大達第111号)

本年10月1日付けで、労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律（昭和60年法律第88号）の一部が改正されたことに伴い、規定の整備を行ったものです。(平成24年10月1日適用)

北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程

(平成24年11月1日海大達第113号)

本年11月1日付けで、工学研究院に置く寄附分野を廃止したことに伴い、所要の改正を行ったものです。

■ 表敬訪問

国内

年月日	来 訪 者
24.10.11	東日本電信電話株式会社（NTT東日本）北海道支店 一行
24.10.24	株式会社日立製作所 北海道支社 一行



東日本電信電話株式会社（NTT東日本）
北海道支店 一行



株式会社日立製作所 北海道支社 一行

(総務企画部広報課)

海外

年月日	来訪者	来訪目的
24.10.1	キューバ共和国国家評議会科学顧問 Fidel Castro Diaz-Balart 博士	本学電子科学研究所の視察
24.10.13	ザンビア共和国 Given Lubinda 外務大臣ほか	両国の交流に関する懇談
24.10.17	スイス連邦工科大学 Heinz Blatter 名誉教授、ブレーメン大学（ドイツ） Wilhelm Hagen 教授	本学環境科学院が実施する国際南極大学カリキュラムでの講義のため
24.10.17	ロンドン大学（イギリス）考古学研究所 Tim Schadla-Hall 教授	サステナビリティ・ウィーク参加のため
24.10.31	韓京大学校（韓国） Han-Cheol Hwang 農業生命科学大学長	両大学の交流に関する懇談



キューバ共和国国家評議会科学顧問
Fidel Castro Diaz-Balart 博士（中央右）



ザンビア共和国
Given Lubinda 外務大臣（前列中央）



スイス連邦工科大学 Heinz Blatter 名誉教授(左から4人目)、
ブレーメン大学 Wilhelm Hagen 教授(左から3人目)



ロンドン大学考古学研究所
Tim Schadla-Hall 教授（左から3人目）



韓京大学校
Han-Cheol Hwang 農業生命科学大学長(左端)

（国際本部国際連携課）

■ 人事

平成24年10月31日付発令

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
【講師】 （辞職）	小野寺 祐 也	北海道大学病院講師
【助教】 （辞職）	平 田 健 司	大学院医学研究科助教
【技術職員等】 （辞職）	古 瀬 早 苗	北海道大学病院看護部助産師
	明 瀬 史 恵	北海道大学病院看護部看護師
	畑 田 舞	北海道大学病院看護部看護師
	渡 邊 亜 樹	北海道大学病院看護部看護師
【嘱託職員】 （辞職）	板 垣 忠 良	財務部調達課

平成24年11月1日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【教授】 大学院医学研究科教授 大学院理学研究院教授	大 場 雄 介 大 本 亨	大学院医学研究科准教授 大学院理学研究院准教授
【准教授】 大学院文学研究科准教授 大学院医学研究科准教授 触媒化学研究センター准教授	竹 澤 正 哲 外 丸 詩 野 KOWALSKA EWA KATARZYNA	採用 大学院医学研究科講師 採用
【講師】 大学院医学研究科講師 北海道大学病院講師 総合博物館講師	絹 川 真太郎 土 屋 和 彦 阿 部 剛 史	大学院医学研究科助教 北海道大学病院助教 総合博物館助教
【助教】 大学院医学研究科助教 大学院工学研究院助教 大学院工学研究院助教 北海道大学病院助教 北方生物圏フィールド科学センター助教	真 鍋 治 小布施 秀 明 佐々木 裕 司 藤 間 憲 幸 福 澤 加里部	採用 採用 採用 採用 採用
【係員】 北海道大学病院総務課 北海道大学病院医事課	高 見 和 宏 須 永 玲	採用 採用
【技術職員等】 北海道大学病院薬剤部薬剤師 北海道大学病院薬剤部薬剤師	熊 谷 卓 博 高 岡 知 代	採用 採用
【嘱託職員】 財務部調達課	岩 瀨 良二郎	財務部経理課

新任教授紹介

平成24年11月1日付



医学研究科教授に

おおの ゆうすけ
大場 雄介 氏

医学専攻生理学講座

生年月日

昭和45年 6 月 8 日

最終学歴

北海道大学大学院医学研究科博士課程修了(平成12年 3 月)
博士 (医学) (北海道大学)

専門分野

細胞生物学



理学研究院教授に

おおもと とおる
大本 亨 氏

数学部門数学分野

生年月日

昭和40年 8 月18日

最終学歴

東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了(平成 5 年 3 月)
博士 (理学) (東京工業大学)

専門分野

特異点論, 位相幾何学

訃報

名誉教授 酒井 昭 氏
さかい あきら
(享年92歳)



名誉教授 酒井 昭氏は、平成24年10月5日に逝去されました。ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

同氏は、昭和19年9月北海道帝国大学理学部動物学科を卒業、同24年6月北海道大学低温科学研究所文部教官に採用され、同35年2月同助教を経て、同41年4月同教授に昇任されました。その間、昭和37年3月東北大学から理学博士の学位を授与されています。昭

和58年4月、本学を停年退職後、同年4月、北海道大学名誉教授の称号を授与されました。

研究面においては、植物の耐凍性に関する生理生化学的な基礎研究、超低温下での細胞生存の機構及び現地における凍霜害発生の実態調査と微気象要因の解析を進め、多大な成果を収められました。また、植物の地理的分布と耐凍性に関する研究から、植物の寒冷適応の進化論的考察へと進み、新しい学問体系を確立されました。これらの研究功績に対し、昭和42年度日本林学会林学賞、昭和55年度北海道新聞文化賞科学技術賞が授与されました。

同氏は、停年退職後も、国際的な植物遺伝資源保存事業及びバイオテクノロジーの基礎技術として重要な植物培養細胞、生長組織、胚組織の液体窒素中での凍結保存法の基礎研究に尽力され、ガラス化法の開発に多大な貢献を

されました。これらの優れた研究業績により平成15年度日本植物細胞分子生物学会技術賞が授与されました。

学会活動においては、北海道林木育種協会理事、日本植物学会北海道支部長を歴任し、学会及び地域の科学技術の発展に寄与されました。

このように、同氏は、低温生物学、植物細胞工学、植物生理学、植物生態学の基礎研究分野をはじめ、農学、林学、園芸学の応用研究分野にまたがる幅広い研究活動に尽力されるとともに、国内外の学術振興、人材の育成に多大な貢献をされました。これらの功績により、平成5年秋の叙勲において勲三等旭日中綬章を受章されました。

ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(低温科学研究所)

名誉教授 青田 昌秋 氏
あおた まさあき
(享年74歳)



名誉教授 青田昌秋氏は、平成24年10月27日に逝去されました。ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

同氏は、昭和38年3月北海道大学理学部地球物理学科を卒業、同40年3月同学部物理学科卒業後、同年4月北海道大学低温科学研究所助手に採用され、同42年4月に同研究所附属流水研究施設助手に配置換え、その後、同50年1月同講師、同年7月同助教に昇任し、同58年4月同教授に任ぜられると、同研究所附属流水研究施設長に併任さ

れ、研究の推進、指導、施設の発展に尽力されました。

平成14年3月、本学を定年退職後、同年4月、北海道大学名誉教授の称号を授与され、また、同14年6月から北海道立オホーツク流水科学センター所長に就任し、逝去されるまで地域に根ざした教育普及活動に尽力されていました。

同氏の研究活動としての第一歩は、世界で初めての流水観測を主眼とするレーダー網の設置でありました。以来紋別を観測研究の拠点として、流水レーダーの性能、オホーツク海沿岸域の流水の動きの実態調査研究等に尽力されました。流水レーダー情報は研究観測用と同時に、沿岸域の氷海中を航行する船舶等にも速報され、船舶等の安全航行に多大な貢献をされました。

また、昭和61年には、「北方圏国際シンポジウム オホーツク海と流水」を創設され、企画運営面において中心的役割を果たされ、平成24年の第27回

開催に至るまで継続してその発展に尽力されました。

さらに、流水科学センター所長に就任されてからは、地球環境保全に関する啓発を促進するために、所長として強いリーダーシップを発揮し、企画、啓発活動に新機軸を据え、次世代青少年への環境教育の取組みに並々な情熱を注がれました。

これらの功績に対して、平成8年北海道新聞文化賞科学技術賞、同15年日本海洋学会宇田賞が授与されています。

以上のように、同氏は長年にわたり、海洋物理学等の専門分野を通じて学術上の進歩に寄与され、学外においても地域に密着した啓蒙活動に大いに貢献されました。

ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(低温科学研究所)

名誉教授 ^{こうやま けいいち} 神山 桂一 氏
(享年84歳)



名誉教授 神山桂一氏は、平成24年10月29日、84歳でご逝去されました。

先生は、昭和2年11月12日に島根県に生まれ、昭和29年2月京都大学工学部土木工学科を卒業後、京都大学工学部助手、講師を経て同33年4月に北海道大学衛生工学科助教授として着任、同53年4月に教授に昇任されました。平成3年3月に北海道大学を退官し、名誉教授の称号を授与され、退職後は

北海学園大学工学部教授となり、平成5年4月から同7年3月まで工学研究科長を務められました。

先生は衛生工学、廃棄物工学の誕生期における教育・研究者として分野の発展に務められました。特に北海道大学においては衛生工学科創設期の教育・研究、学科の充実に貢献され、北は北見工業大学、南は琉球大学まで広く、環境衛生工学に関する教育においても尽力されました。

衛生工学分野では、高濃度廃水の処理技術の開発・指導、廃棄物に関しては埋立地における汚濁物、有害物の挙動、さらには廃棄物処理のシステマ的評価まで広く研究対象とされました。学会活動では、土木学会衛生工学委員会委員長、廃棄物学会副会長などを務められ、国や地方自治体に対しても多数の審議会・委員会を通じて多大の貢

献をされました。平成3年度には廃棄物学会論文賞を、さらに環境保全活動の普及・啓蒙への努力に対して平成14年度環境大臣賞の表彰を受けられました。

先生はその深い見識によって、市民対象の神山ゼミを亡くなる直前まで定期的に開催され、お住まいのある北広島では環境問題に取り組む市民の精神的リーダーでありました。周囲からの敬愛の深さは、お別れ会に多くの市民が参列されたことに表れており、市民とともに考え行動する稀有な科学者でありました。

ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(工学院・工学研究院・工学部)

名誉教授 ^{たなか たつお} 田中 達夫 氏
(享年87歳)



名誉教授 田中達夫氏は、平成24年11月2日早朝、87歳でご逝去されました。

先生は、大正15年8月8日に生まれ、昭和23年3月京都大学工学部化学機械学科を卒業、同25年3月大学院特別研究生(第1期)を修了されました。同年3月金沢大学金沢工業専門学校に赴任し、その後金沢大学工学部講師、助教授を経て同35年4月教授に昇任されましたが、昭和37年12月北海道大学工学部教授に配置換となりました。北海

道大学では、工学部合成化学工学科工業化学計測講座を担当し、大学の各種委員として運営に参加され、平成2年3月停年退官、同年4月名誉教授となりました。さらに同月からは北海道職業訓練短期大学校長として赴任し、平成3年6月に退職されました。

教育面では、北海道大学在職中、化学工学と粉体工学関連の授業を担当し、学内では文学部、水産学部、学外では京都大学や道内大学などの非常勤講師として、国外では台湾成功大学、豪州メルボルン大学などの客員教授として広く教育に尽力されました。

研究面では、粉体プロセス工学の分野において、特に粉碎限界説の提唱や閉回路粉碎方式の解析手法など、斬新な研究論文で国内外の高い評価を得、昭和32年7月京都大学から工学博士号を授与されました。加えて粉体の貯槽、造粒、計測技術、充填、粉塵爆発など化学と粒子に関わる独創的で価値ある

業績に対し、昭和63年4月に化学工学会学術賞を授与されました。

海外との研究交流は、昭和33年にフルブライト留学生として在籍した米国ミネソタ大学をはじめ、英国、米国、中国、豪州、カナダの大学や研究所など多数に及び、この卓越した研究レベルと交流に対し、平成元年に粉体工学会より世界的な賞である井伊谷賞を授与されました。

また、学会運営では、粉体工学会副会長、化学工学会の各種委員などを歴任されました。

以上の功績は顕著であり、平成19年春には、瑞宝中授章を授与されております。

ここに謹んで先生のご功績を称え、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

(工学院・工学研究院・工学部)

資料

役 職 員 数

平成24年10月1日現在

部 局 等	職 種	総 長	理 事	監 事	小 計	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	小 計	専門職	事務職員	技術職員	合 計
役員		1人	7人	2人	10人										10人
監査室													4		4
事務局	総務企画部												68	1	69
	財務部												78		78
	学務部												61		61
	研究推進部												28		28
	施設部												9	27	36
附属図書館												91		91	
文学研究科・文学部					50	41		11			102	15	2	119	
法学研究科・法学部					35	19	1	7	4	66	19			85	
経済学研究科・経済学部					23	21		4	1	49	1	8		58	
医学研究科・医学部					46	25	14	60	3	148			13	161	
医学系事務部												37	2	39	
歯学研究科・歯学部					17	15	2	48		82		10	5	97	
獣医学研究科・獣医学部					17	13	3	16		49		12	3	64	
情報科学研究科					40	39		16		95				95	
水産科学院・水産科学研究院・水産学部					33	40	1	11		85			39	124	
函館キャンパス事務部												22	4	26	
環境科学院・地球環境科学研究院					21	25		10	1	57				57	
環境科学事務部												12		12	
理学院・理学研究院・理学部					78	68	8	49	2	205	1		20	226	
理学・生命科学事務部												40	2	42	
薬学研究科・薬学部					15	12	3	27		57			3	60	
薬学事務部												14		14	
農学院・農学研究科・農学部					46	45	22	16		129			11	140	
農学事務部												20	2	22	
生命科学院・先端生命科学研究院					14	4		10		28				28	
教育学院・教育学研究院・教育学部					18	15		5	1	39				39	
教育学事務部												7		7	
国際広報メディア・観光学院 メディア・コミュニケーション研究院					27	24		2		53				53	
メディア・観光学事務部												7		7	
保健科学院・保健科学研究院					29	16	5	23	1	74				74	
工学院・工学研究院・工学部					99	101	3	79	1	283			45	328	
工学系事務部												67	3	70	
総合化学院														0	
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部					12	6	3			21				21	
北海道大学病院					5	17	55	85		162		113	666	941	
低温科学研究所					15	10	2	18		45		8	9	62	
電子科学研究所					16	12	1	21		50			10	60	
遺伝子病制御研究所					9	7	3	15		34			7	41	
触媒化学研究センター					8	6		6		20			6	26	
スラブ研究センター					8	3		3	1	15				15	
情報基盤センター					8	3		2		13				13	
アイソトープ総合センター					1	1		1		3			2	5	
総合博物館					2	3	1	3		9				9	
量子集積エレクトロニクス研究センター					3	3		1		7				7	
北方生物圏フィールド科学センター					16	12		12		40		20	75	135	
知識メディア・ラボラトリー														0	
脳科学研究教育センター														0	
人獣共通感染症リサーチセンター					5	4	1	2		12			2	14	
大学文書館								1		1			1	2	
観光学高等教育センター					2	2				4				4	
外国語教育センター														0	
アイヌ・先住民研究センター					2	3		1		6				6	
社会科学実験研究センター								1		1				1	
情報法政策学研究センター														0	
環境ナノ・バイオ工学研究センター														0	
数学連携研究センター														0	
サステイナビリティ学教育研究センター					1					1				1	
トポジー理工学教育研究センター														0	
環境健康科学研究教育センター														0	
探索医療教育研究センター					1	1				2				2	
保健センター					1		2			3			9	12	
情報環境推進本部												15	15	30	
産学連携本部												3		3	
アドミッションセンター														0	
人材育成本部														0	
創成研究機構						1				1	1		8	10	
国際本部					3	6	4			13	5	24		42	
高等教育推進機構					4	5				9			4	13	
サステイナブルキャンパス推進本部														0	
安全衛生本部						1				1	1			2	
北キャンパス合同事務部												11		11	
合 計		1	7	2	10	730	629	134	566	15	2,074	12	820	996	3,912

(総務企画部人事課)

在籍学生数（平成24年10月1日現在）

- (注) 1 () 内は女子の内数, < > 内は女子の比率。
 2 [] 内は2年次編入学定員で外数。
 3 [] 内は3年次編入学定員で外数（工学部は高専卒業者の受入れ）。
 4 以下の表は、すべて外国人留学生数を含む。

■学部

学部等名	入学定員	在籍者数							聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講学生	合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文学部	185人 [人] [10人]	2人	192人	201人	253人	一人	一人	648人 (308<47.5%>)	6人	15人	74人	29人	772人 (395<51.2%>)
教育学部	50 [10]		50	69	74	—	—	193 (93<48.2%>)	1	21	21	3	239 (123<51.5%>)
法学部	200 [10] [10]		226	230	253	—	—	709 (216<30.5%>)	1	6		10	726 (225<31.0%>)
経済学部	190	1	198	206	239	—	—	644 (172<26.7%>)		1	29	17	691 (196<28.4%>)
理学部	300		319	293	342	—	—	954 (221<23.2%>)	2	3	3	4	966 (222<23.0%>)
医学部	287 [5] [20]	1	331	312	290	89	114	1,137 (473<41.6%>)				1	1,138 (474<41.7%>)
歯学部	53		53	58	48	60	54	273 (99<36.3%>)			2		275 (99<36.0%>)
薬学部	80	2	88	76	95	30	30	321 (114<35.5%>)		1			322 (114<35.4%>)
工学部	670 [10]		734	692	770	—	—	2,196 (266<12.1%>)		4		18	2,218 (269<12.1%>)
農学部	215	9	220	232	253	—	—	714 (220<30.8%>)	4	2		7	727 (228<31.4%>)
獣医学部	40		43	42	40	41	44	210 (88<41.9%>)				1	211 (88<41.7%>)
水産学部	215	7	228	215	225	—	—	675 (186<27.6%>)		1	2	10	688 (193<28.1%>)
総合教育部	—	2,695	—	—	—	—	—	2,695 (792<29.4%>)					2,695 (792<29.4%>)
合計	2,485 [15] [60]	2,717	2,682	2,626	2,882	220	242	11,369 (3,248<28.6%>)	14	54	131	100	11,668 (3,418<29.3%>)

※学部の入学定員は、学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

■研究所等

研究所等名	研究生	特別研究学生	日本語・日本文化 研修生	日本語研修生	合計
低温科学研究所	4人	人	一人	一人	4人(2<50.0%>)
電子科学研究所	2	1	—	—	3(0<0.0%>)
遺伝子病制御研究所	1		—	—	1(0<0.0%>)
触媒化学研究センター	3		—	—	3(1<33.3%>)
スラブ研究センター	3	1	—	—	4(1<25.0%>)
総合博物館	2		—	—	2(0<0.0%>)
北方生物圏フィールド科学センター	2		—	—	2(1<50.0%>)
観光学高等研究センター	2		—	—	2(1<50.0%>)
国際本部		1	35	8	44(29<65.9%>)
高等教育推進機構	2		—	—	2(1<50.0%>)
合計	21	3	35	8	67(36<53.7%>)

■大学院

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数。

研究科等名	修士課程(博士前期)				専門職学位課程				博士課程(博士後期及び博士一貫)					聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講生	特別研究生	合計		
	入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数											
		1年次	2年次	小計		1年次	2年次	3年次		小計	1年次	2年次	3年次							4年次	小計
文学研究科	90人	106人	137人	243人 (140<57.6%>)	—	—	—	—	—	35人	44人	46人	118人	—	208人 (105<50.5%>)	7人	4人	10人	—	4人	476人 (257<54.0%>)
法学研究科	20	20	32	52 (17<32.7 >)	80	28	24	25	176 (34<19.3 >)	15	12	11	25	—	48 (16<33.3 >)	—	1	13	8	2	300 (78<26.0 >)
経済学研究科	30	33	34	67 (30<44.8 >)	20	24	20	—	44 (4<9.1 >)	15	8	6	19	—	33 (11<33.3 >)	—	—	1	1	2	148 (47<31.8 >)
医学研究科	30	15	26	41 (18<43.9 >)	—	—	—	—	—	100	92	77	87	141	397 (101<25.4 >)	2	—	8	1	4	453 (126<27.8 >)
歯学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	40	45	38	41	164 (59<36.0 >)	—	—	15	—	—	179 (63<35.2 >)
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	20	19	21	22	82 (22<26.8 >)	—	—	10	—	1	93 (27<29.0 >)
情報科学研究科	177	205	222	427 (32<7.5 >)	—	—	—	—	—	42	54	52	68	—	174 (26<14.9 >)	—	—	12	—	1	614 (59<9.6 >)
水産科学院	90	120	120	240 (54<22.5 >)	—	—	—	—	—	35	22	18	40	—	80 (25<31.3 >)	—	—	—	—	4	324 (81<25.0 >)
水産科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	4 (1<25.0 >)
水産科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1 (0<0.0 >)	—	—	—	—	—	1 (0<0.0 >)
環境科学院	159	133	163	296 (85<28.7 >)	—	—	—	—	—	63	40	52	88	—	180 (55<30.6 >)	—	—	—	—	1	477 (140<29.4 >)
地球環境科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	—	—	9 (3<33.3 >)
理学院	129	129	124	253 (35<13.8 >)	—	—	—	—	—	56	34	21	81	—	136 (32<23.5 >)	—	—	—	—	8	397 (68<17.1 >)
理学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	5 (1<20.0 >)
理学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1 (0<0.0 >)	—	—	—	—	—	1 (0<0.0 >)
薬学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (0<0.0 >)
農学院	150	195	171	366 (116<31.7 >)	—	—	—	—	—	50	46	39	68	—	153 (53<34.6 >)	1	—	—	2	—	522 (170<32.6 >)
農学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	—	—	—	16 (5<31.3 >)
生命科学学院	132	121	122	243 (71<29.2 >)	—	—	—	—	—	50	46	47	60	—	153 (53<34.6 >)	—	—	—	—	1	397 (124<31.2 >)
先端生命科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (0<0.0 >)
教育学院	45	45	49	94 (51<54.3 >)	—	—	—	—	—	21	21	25	49	—	95 (53<55.8 >)	2	—	2	2	—	195 (109<55.9 >)
教育学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2 (0<0.0 >)
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	—	20 (12<60.0 >)	—	—	—	—	—	20 (12<60.0 >)
国際広報メディア・観光学院	42	44	58	102 (65<63.7 >)	—	—	—	—	—	17	22	14	36	—	72 (39<54.2 >)	1	—	—	1	—	176 (106<60.2 >)
メディア・コミュニケーション研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	—	—	—	19 (15<78.9 >)
国際広報メディア研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	7 (6<85.7 >)	—	—	—	—	—	7 (6<85.7 >)
保健科学院	26	35	33	68 (33<48.5 >)	—	—	—	—	—	8	14	10	18	—	42 (17<40.5 >)	—	—	—	—	1	111 (50<45.0 >)
保健科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	—	—	9 (6<66.7 >)
工学院	326	346	377	723 (68<9.4 >)	—	—	—	—	—	69	63	73	63	—	199 (34<17.1 >)	—	—	3	8	—	933 (106<11.4 >)
工学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	—	—	—	19 (3<15.8 >)
工学研究科	—	—	3	3 (0<0.0 >)	—	—	—	—	—	—	—	—	34	—	34 (1<2.9 >)	—	—	—	—	—	37 (1<2.7 >)
総合化学院	129	154	138	292 (64<21.9 >)	—	—	—	—	—	38	32	33	42	—	107 (17<15.9 >)	—	—	—	—	2	401 (82<20.4 >)
公共政策学教育部	—	—	—	—	30	37	40	—	77 (16<20.8 >)	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	81 (16<19.8 >)
公共政策学連携研究部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1 (1<100.0 >)
合計	1,575	1,701	1,809	3,510 (879<25.0 >)	130	140	132	25	297 (54<18.2 >)	680	610	588	984	204	2,386 (737<30.9 >)	11	11	152	18	42	6,427 (1,763<27.4 >)

(学務部教務課)

広 報 誌 等 一 覧

平成24年10月調査

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等			
事	総務課安全衛生室	安全の手引	年 1 回	H24年 3 月	教職員・学生に対する安全対策に関する基礎的な知識を掲載		
		Safety Manual	不定期	H24年 3 月	教職員・学生に対する安全対策に関する基礎的な知識を英文で掲載		
		化学物質取扱の手引	年 1 回	H24年 6 月	教職員・学生に対する化学物質の法規制及び取扱いに関する基礎的な知識を掲載		
	広報課	北海道大学読本	不定期	H23年 9 月	「北大を知るならまずここから」をコンセプトに、本学をコンパクトにわかりやすく紹介		
		北海道大学読本（英語版）	不定期	H24年 1 月			
		北海道大学概要	年 1 回	H24年度版	本学の沿革、組織、職員数等、大学の概要を掲載		
		北海道大学職員録	年 1 回	H24年度版	職員の所属や内線電話番号を掲載		
		リテラボブリ	年 4 回	H24年 7 月	研究紹介、トピックス解説、同窓生訪問等を掲載		
		リテラボブリ特別号	不定期	H24年 2 月	高校生向けに本学の研究や取組等を紹介		
		北大時報	月 1 回	H24年10月	その月の大学や部局のニュース、お知らせ等を掲載		
東京オフィスリーフレット		不定期	H19年 9 月	東京オフィスの施設案内			
キャンパスガイドマップ	不定期	H24年10月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介				
主計課財務管理室	財務報告書2011	年 1 回	H23年11月	財務諸表では伝わりにくい財務情報をわかりやすく分析し、併せて本学の活動のうち特徴的なものを財務情報を交えて紹介			
	財務報告書2011（リーフレット版）	年 1 回	H23年11月	財務報告書から企業や寄附者向けの情報を抜粋し、携帯や配布がしやすいようにリーフレット版としたもの			
	北大の家計簿	年 1 回	H23年11月	財務に興味のない方にも手に取ってもらえるよう、北大に関する数字をテーマに家計簿に見立て、リーフレットとして紹介したもの			
務	教務課	北海道大学全学教育科目実施の手引き（教職員用）	年 1 回	H24年 4 月	教職員向けに全学教育科目実施のための関係資料を掲載		
		北海道大学全学教育科目実施の手引き（非常勤講師の方々へ）	年 1 回	H24年 4 月	上記手引きの別冊、非常勤講師の発令や授業実施関係等を掲載		
		北海道大学の全学教育－コアカリキュラムと基礎科目からのメッセージ	不定期	H24年 4 月	北海道大学の教養教育の内容について、コアカリキュラムを中心に解説（日本語）		
		総合教育部便覧	年 1 回	H24年 4 月	1年次学生に対する履修方法の周知及び学生生活全般の案内		
		総合教育部シラバス（第1学期・第2学期）	年 2 回	H24年 9 月	全学教育科目の講義内容・評価方法等の案内		
		アカデミック・サポートセンターリーフレット	年 1 回	H23年 4 月	アカデミック・サポートセンターの利用に関する案内		
		アカデミック・マップ	年 1 回	H24年 4 月	進級、学部移行の参考として各学部学科等の研究内容等を掲載		
		アカデミック・サポートセンターニュース	不定期	H24年 9 月	アカデミック・サポートセンターで実施する学習サポート、セミナーの情報や学部移行の志望調査結果を掲載		
		大学院共通授業科目 履修案内	年 1 回	H24年 3 月	大学院共通授業科目の授業内容と時間割		
		大学院理工系専門基礎科目 履修案内	年 1 回	H24年 3 月	大学院理工系専門基礎科目の授業内容と時間割		
		北海道大学オープンコースウェア活動報告書	年 1 回	H24年 3 月	北海道大学オープンコースウェアの活動報告書		
		北海道大学オープンコースウェアニュースレター	年 1～3 回	H24年 2 月	北海道大学オープンコースウェアのニュースを報告		
		北海道大学オープンコースウェアリーフレット・パンフレット	年 1～3 回	H24年 2 月	高校生、学生、教職員向けに、北海道大学オープンコースウェアの利用に関する案内を掲載		
		局	学生支援課	えるむ	年 3 回	H24年 8 月	学生向けに学内行事・ニュース・お知らせ等を掲載
				北大元気プロジェクト実施報告書	年 1 回	H24年 4 月	北大元気プロジェクトの活動報告を掲載
学生生活の案内	年 1 回			H24年 4 月	学部学生向けの学生生活案内		
学生生活実態調査報告書	4年に1回			H23年 3 月	学生生活実態調査の報告書		
とって北大生	4年に1回			H22年11月	学生生活実態調査報告書の概要版		
北海道大学学生寮入寮案内－恵迪寮－	年 1 回			H24年 1 月	学生寮（恵迪寮）の概要・入寮出願手続き等を掲載		
北海道大学学生寮入寮案内－霜星寮－	年 1 回			H24年 1 月	学生寮（霜星寮）の概要・入寮出願手続き等を掲載		
北海道大学学生寮入寮案内－北大インターナショナルハウス北23条2号棟－ 大滝セミナーハウスリーフレット	年 1 回 不定期			H24年 1 月 H24年 7 月	学生寮（北大インターナショナルハウス北23条2号棟）の概要・入寮出願手続き等を掲載 大滝セミナーハウスの施設紹介		
入試課	Be ambitious（大学案内）	年 1 回	H24年 6 月	学部等の紹介、修学コースマップ、入試・教育・学生生活の紹介			
	オープンキャンパス	年 1 回	H24年 5 月	オープンキャンパスの実施内容を掲載			
	学生募集要項（AO入試）（理学部、医学部、歯学部、工学部、水産学部）	年 1 回	H24年 6 月	平成25年度AO入試に係る応募要領（出願書類添付）			
	AO入試案内	年 1 回	H24年 5 月	AO入試の概要について掲載			
	入学者選抜要項	年 1 回	H24年 7 月	平成25年度入学者選抜に関する概要			
	学生募集要項（帰国子女入試）	年 1 回	H24年 6 月	平成25年度帰国子女入試に係る応募要領（出願書類添付）			
	学生募集要項（一般入試）	年 1 回	H24年10月	平成25年度一般入試に係る応募要領（出願書類添付）			
	北大キャンパスビジットプロジェクト 北大ぐるぶらマップ	不定期	H24年 3 月	北大キャンパスビジットプロジェクト概要紹介、キャンパス案内			
	総合入試案内	不定期	H24年 6 月	総合入試の概要について掲載			
	知のフロンティア －北海道大学の研究者は、いま－	不定期	H24年10月	本学教員の研究内容紹介			
	学生募集要項（私費外国人留学生（学部）入試）	年 1 回	H24年10月	平成25年度私費外国人留学生（学部）入試に係る応募要領（WEB版）			

部局名		広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
事務局	キャリアセンター	キャリアハンドブック2013	年1回	H24年9月	就職希望学生に対する情報等を掲載
		キャリア通信	年4回	H24年9月	学生に対する就職、インターンシップ、各種ガイダンス情報等を掲載
		キャリアハンドブック2013 (日本語・英語併記版)(日本語・中国語併記版) -外国人留学生のためのキャリアハンドブック	年1回	H24年9月	日本での就職を希望する留学生に対する情報等を掲載
	施設企画課	北海道大学キャンパスマスタープラン 2006	不定期	H19年10月	施設整備の基本方針を定めるキャンパスマスタープラン96の骨子を継承しつつ、さらに教育・研究の目標、計画の変化に柔軟に対応するための施設・環境のマネジメントを重視した計画を掲載
北海道大学キャンパスマスタープラン 2006 リーフレット		不定期	H19年10月	キャンパスマスタープラン2006の概要を掲載	
附属図書館	北海道大学附属図書館概要		年1回	H24年度版	附属図書館のサービス、組織等の概要を掲載
	図書館利用案内(リーフレット) 日本語版		年1回	H24年10月	附属図書館の利用に関する案内等を掲載
	北図書館利用案内(リーフレット) 日本語版		年1回	H24年3月	
	図書館利用案内(リーフレット) 英語版		年1回	H24年10月	
	榆蔭(北海道大学附属図書館報)		年3回	H24年7月	本学図書関係のニュース、お知らせ等を掲載
	榆蔭レター (北海道大学附属図書館報速報版)		月1回	H24年10月	その月の附属図書館のニュース、お知らせ等を掲載
	HUSCAPレター		不定期	H24年3月	北海道大学学術成果コレクション(HUSCAP)収載文献の紹介記事等を掲載
北海道大学学術成果コレクション (リーフレット)		不定期	H20年3月	北海道大学学術成果コレクション(HUSCAP)の概要及び運用の紹介	
文学研究科・文学部	北海道大学大学院文学研究科・文学部概要		年1回	H24年6月	文学部の沿革、歴代学部長、組織運営等の概要を掲載
	文学研究科・文学部ニュース		年1回	H24年3月	委員会からの報告、研究成果、公開講座のお知らせ、人事等、学部内の状況を掲載
	北海道大学大学院文学研究科案内		年1回	H24年6月	研究科の担当教員や学生生活、授業内容等を掲載
	北海道大学文学部案内		年1回	H24年7月	学部の担当教員や学生生活、授業内容等を掲載
	北海道大学文学部教育研究年報		不定期	H8-10年版	教育研究活動等を掲載
	北海道大学文学部学外評価委員会報告書		不定期	H10年3月	外部評価報告書
	北海道大学文学研究科紀要		年3回	H24年7月	文学研究科専任教員の研究成果を論文として掲載
	学生便覧(文学部)		年1回	H24年4月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載
	学生便覧(文学研究科)		年1回	H24年4月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載
	専門科目シラバス		年1回	H24年4月	専門科目の開講科目一覧、シラバスを掲載
	Syllabus		年1回	H24年4月	大学院(修士課程)科目の開講科目一覧、シラバスを掲載
	北海道大学大学院文学研究科研究論集		年1回	H23年12月	文学研究科大学院学生の研究成果を論文として掲載
	北海道大学大学院文学研究科研究叢書		年1~3回	H24年8月	文学研究科専任教員の研究成果や共同研究の公表
	Journal of the Graduate School of Letters		年1回	H24年3月	文学研究科教員及び大学院学生の研究成果を英文論文として掲載
	北海道大学大学院文学研究科ライブラリ		年2回	H24年3月	文学研究科専任教員の研究成果や共同研究の成果、公開講座のテキストを掲載
法学研究科・法学部	法学部案内 Be Ambitious		不定期	H24年5月	法学部での学生生活、学修内容や教員等の紹介
	北大法学論集		年6回	H24年9月	文献の論説、資料の紹介及び判例研究を掲載
	北大法政ジャーナル		年1回	H24年1月	法学研究科修士論文の「優」に相当する論文及びリサーチペーパー
	法学研究科学生便覧・講義要領		年1回	H24年3月	授業日程、開講科目一覧、科目内容説明、学内規程や履修方法の周知及び学生生活全般の案内
	学生便覧・講義要領(法科大学院)		年1回	H24年3月	授業日程、開講科目一覧、科目内容説明、学内規程や履修方法の周知及び学生生活全般の案内
	授業科目要覧(SYLLABUS) 2~4年生用(法学部)		年1回	H24年3月	学部専門科目の授業内容、教材・評価方法等の案内
	法学部学生便覧		年1回	H24年3月	規程関係、授業の履修方法及び卒業要件、学生生活の案内
	附属高等法政教育研究センター NewsLetter j-mail		不定期	H24年1月	主催シンポジウムの報告、所属教員・研究会の研究内容等を掲載
	大志ある法曹をめざして (法科大学院パンフレット)		年1回	H24年6月	法科大学院の教育プログラム、教員の紹介、入試制度等を掲載
	自己点検・評価報告書		不定期	H22年3月	法学研究科・法学部の自己点検・評価報告書
	自己点検・評価報告書評価資料集		不定期	H22年3月	法学研究科・法学部の自己点検・評価に関する資料集
外部評価報告書		不定期	H22年3月	法学研究科・法学部の外部評価報告書	
経済学研究科・経済学部	北海道大学大学院経済学研究科・経済学部概要		隔年	H24年度版	経済学研究科・経済学部の沿革、組織、学生数、職員数等の概要を掲載
	北海道大学大学院経済学研究科 (紹介パンフレット)		不定期	H23年4月	経済学研究科への入学を目指す方を対象に、研究科の構成、入試情報、研究内容等を紹介
	北海道大学アカウンティングスクール (紹介パンフレット)		不定期	H24年4月	経済学研究科専門職学位課程への入学を目指す方を対象に、入試情報、講義科目等を紹介
	経済学部のすべて(紹介パンフレット)		不定期	H24年4月	経済学部への入学を目指す方を対象に、学部の構成、授業科目、入試情報、学生生活等を紹介
	北海道大学経済学部点検評価報告書		4年に1回	H14年3月	学部の研究活動状況、教育活動状況等を自己点検したものを掲載

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
経済学研究科・経済学部	北海道大学経済学部外部評価報告書	不定期	H11年3月	学部の研究活動状況、教育活動状況等に係る第三者評価結果を掲載
	北海道大学経済学部外部評価資料	不定期	H10年7月	学部の研究活動状況、教育活動状況等に係る第三者評価を受けるための基礎資料
	経済学部学生便覧	年1回	H24年3月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載
	講義要領(学部2～4年生用)	年1回	H24年3月	全学教育科目2年次及び経済学部専門科目の開講科目、講義内容等を掲載
	経済学研究科学生便覧	年1回	H24年3月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載
	経済学研究科講義要領	年1回	H24年3月	経済学研究科修士課程及び博士後期課程の開講科目、講義内容等を掲載
	経済学研究科会計情報専攻講義要領	年1回	H24年3月	経済学研究科専門職学位課程の開講科目、講義内容等を掲載
	経済学研究(邦文紀要)	年2回	H24年7月	経済学研究科所属の教員・大学院生の研究論文(和文)を掲載
	Economic Journal of Hokkaido University(欧文紀要)	年1回	H23年12月	経済学研究科所属の教員・大学院生の研究論文(欧文)を掲載
地域経済・経営ネットワーク研究センター年報	年1回	H24年3月	地域経済・経営ネットワーク研究センター及び経済学研究科の研究成果を発信	
医学研究科・医学部	北海道大学大学院医学研究科・医学部医学科概要(日本語版)	年1回	H24年10月	医学研究科・医学部の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載
	北海道大学大学院医学研究科・医学部医学科概要(英語版)	年1回	H23年11月	医学研究科・医学部の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載(英文)
	北海道大学大学院医学研究科・医学部医学科広報	年4回	H23年11月(H24年8月増刷)	医学研究科・医学部医学科のニュース、トピックス、お知らせ等を掲載
	北海道大学大学院医学研究科・医学部活動報告書	不定期	H16年版	点検評価(研究活動の状況、研究実績等)を掲載
	北海道大学大学院医学研究科・医学部医学科紹介DVD	年1回	H24年7月	入学志願者、一般向けにカリキュラム、医学研究科・医学部医学科の特色等を紹介
	北海道大学大学院医学研究科博士課程案内(日本語版)	年1回または隔年	H24年5月	入学志願者、一般向け医学研究科博士課程案内
	北海道大学大学院医学研究科博士課程案内(英語版)	年2回または隔年	H24年10月	入学志願者、一般向け医学研究科博士課程案内(英文)
	北海道大学大学院医学研究科修士課程案内(日本語版)	年1回	H24年5月	入学志願者、一般向け医学研究科修士課程案内
	北海道大学大学院医学研究科修士課程案内(英語版)	年1回	H24年10月	入学志願者、一般向け医学研究科修士課程案内(英文)
	医学研究科医科学専攻修士課程履修案内	年1回	H23年度版	修士課程シラバス
	大学院授業要項(医学研究科博士課程)	年1回	H23年度版	博士課程シラバス
	北海道大学医学部医学科案内	年1回	H24年7月	入学志願者、一般向け医学科案内
	医学とともに歩む	年1回	H24年度版	医学科専門科目シラバス
	医学とともにある学生生活	年1回	H24年度版	医学科学生便覧、規程等を掲載
	北海道大学医学部保健学科案内	年1回	H24年度版	受験生向け保健学科案内
	医学部保健学科学生便覧	年1回	H24年度版	保健学科学生便覧、規程等を掲載
	医学部保健学科授業概要(シラバス)	年1回	H24年度版	専門科目シラバス
	早期臨床体験実習 要領・資料集	年1回	H24年度版	学部2年次生を対象とした早期臨床体験実習の実習要領・領域ガイダンス資料
	医学教育研究白書	3年に1回	H22年1月	医学研究科・医学部の教育・研究関連の諸データを掲載
	VIS-Voice of the International Students-国際連携室だより(英日バイリンガル版)	年4回程度	H24年5月	留学生の意見、北大生と関係がある国際交流イベントの紹介・参加者の感想等を掲載
歯学研究科・歯学部	北海道大学大学院歯学研究科・歯学部概要	年1回	H24年度版	沿革、組織等、研究科・学部の概要を掲載
	北海道大学大学院歯学研究科・歯学部・歯科診療センター広報	年1回	H24年5月	行事紹介、研究活動紹介、新任教員紹介、歯科治療の紹介、学生ニュース等を掲載
	北海道大学歯学部学部紹介	年1回	H24年度版	歯学部を志願する高校生向けの学部案内
	北海道大学大学院歯学研究科紹介	年1回	H24年度版	歯学研究科の志願者向けの研究科案内
	Syllabus(専門科目)	年1回	H24年度版	歯学部専門科目の各科目、授業内容等を解説
	Syllabus(大学院授業科目)	年1回	H24年度版	大学院授業科目、授業内容等を解説
	平成24年度歯学部学部別入試入学諸君へ	年1回	H24年3月	歯学部新入生に対する学生生活等の案内
	学生便覧(歯学部・歯学研究科)	年1回	H24年3月	学部・大学院学生に対する修学・厚生補導・関連規程等を掲載
獣医学研究科・獣医学部	北海道大学大学院獣医学研究科	不定期	H13年4月	獣医学研究科案内
	光れる北を	不定期	H24年7月	獣医学部案内
	The Japanese Journal of Veterinary Research	年4回	H24年8月	欧文による研究論文の発表、広報
	北海道大学 獣医学研究科 獣医学部 概要	不定期	H22年9月	獣医学研究科・獣医学部の沿革・組織・職員数等の概要を掲載
	獣医学部附属動物病院	不定期	H13年	動物病院の施設・設備等診療案内
	獣医学研究科動物施設	不定期	H7年	動物施設の施設・設備等案内
	外部評価報告書	4年に1回	H15年12月	外部評価委員会による、獣医学研究科・獣医学部の施設・設備等の評価を公表
自己点検評価報告書	4年に1回	H10年6月	獣医学研究科・獣医学部の点検・評価事項を公表	
学生による授業評価 平成16年度調査報告	不定期	H17年10月	学生による授業評価アンケート調査の集計結果を掲載	

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等	
獣医学研究科・獣医学部	獣医学研究科・獣医学部 学生便覧・シラバス	年1回	H24年3月	獣医学研究科・獣医学部に係る修学・学生生活について、開講授業科目の内容を掲載	
情報科学研究科	北海道大学大学院情報科学研究科	年1回	H24年4月	情報科学研究科の研究内容等に関する紹介	
	北海道大学大学院情報科学研究科(日本語版リーフレット)	年1回	H24年4月	情報科学研究科の紹介	
	北海道大学大学院情報科学研究科(英語版リーフレット)	年1回	H24年4月	情報科学研究科の紹介	
	IST NEWS	年4回	H24年10月	情報科学研究科のニュースを掲載	
	研究業績	年1回	H19年6月	研究業績の紹介	
	北海道大学大学院情報科学研究科学生便覧・授業計画(シラバス)	年1回	H24年3月	情報科学研究科学生用の学生便覧(学修及び学生生活に必要な事項を掲載)及び授業計画	
水産科学院・水産科学研究院・水産学部	北海道大学大学院水産科学研究院・水産科学院・水産学部概要	年1回	H24年度版	沿革、組織、講座等の紹介(一般向け)	
	北海道大学水産学部 PR誌 aQua	不定期	H24年6月	学部、学院、各学科及び各専攻の紹介(学生向け)	
	北海道大学水産学部附属練習船おしよろ丸	不定期	H22年7月	附属練習船おしよろ丸の概要紹介	
	北海道大学水産学部附属練習船うしお丸	不定期	H14年3月	附属練習船うしお丸の概要紹介	
	北海道大学水産科学研究彙報(Bulletin of Fisheries Sciences, Hokkaido University)	年3回	H24年8月	英文・和文で書かれた報文、短報等をまとめたもの	
	Memoirs of the Graduate School of Fisheries Sciences, Hokkaido University(北海道大学大学院水産科学研究院紀要)	年2回	H23年6月	学術的価値を有し、まとまった研究成果を公表する報文、特定の分野に従来の研究を総合的にまとめた総合論文(レビュー)等を掲載	
	Data Record of Oceanographic Observations and Exploratory Fishing(海洋調査漁業試験要報)	年1回	H24年3月	本学部練習船を用いて行った海洋観測、生物調査、漁業試験結果の紹介	
	北海道大学水産科学研究科・水産学部の現状と課題 - 自己点検評価報告書 -	不定期	H20年3月	水産学部の現状と今後の課題をまとめたもの	
	北海道大学水産科学研究科・水産学部の現状と課題 - 外部点検評価報告書 -	不定期	H20年4月	水産学部の現状と今後の課題をまとめたもの	
	学生寮入寮案内 - 北農寮	年1回	H24年7月	学生寮(北農寮)の概要・入寮手続き等を掲載(WEB版)	
	水産学部学生便覧	年1回	H24年4月	水産学部における学修及び学生生活に必要な事項を掲載	
	大学院学生便覧・シラバス(大学院水産科学院)	年1回	H24年4月	水産科学院の概要・授業内容等を掲載	
	環境科学院・地球環境科学研究院	北海道大学大学院環境科学院の紹介「地球環境を科学する」	年1回	H24年度版	学院の組織、各専攻の紹介等、環境科学院の概要を掲載
		学生便覧	年1回	H24年度版	環境科学院の教育・研究内容、授業科目の概要、規程関係、行事予定表、授業時間割、建物配置図等を掲載
授業計画(Syllabus)		年1回	H24年度版	環境科学院の開講科目、講義内容等を掲載	
英文リーフレット		不定期	H24年度版	学院の組織、各専攻の紹介等、環境科学院の概要を掲載	
理学院・理学研究院・理学部	北海道大学大学院理学研究院・理学院・理学部概要	年1回	H23年度版	沿革、組織、職員数、学生数、建物案内、附属施設等の紹介	
	北海道大学大学院理学研究院・理学院・理学部広報	年4回	H24年4月	研究活動・行事・シンポジウム等により、新任教員紹介、受賞関係、外国人研究者等受入関係、人事異動、教務関係行事予定等を掲載(HPにて公開)	
	外部評価資料(数学・物理学・化学・生物科学・地球惑星科学専攻)	1回	H8-10年	大学院重点化に係る点検評価資料	
	外部評価(数学・物理学・化学・生物科学・地球惑星科学専攻)	1回	H9-11年	大学院重点化に係る外部評価委員の評価及び提言	
	理学部パンフレット「リガクの世界をのぞいてみない?」	年1回	H24年度版	理学部各専攻の概要や附属施設の紹介及び卒業生の進路、意見等を掲載	
	理学部学生便覧	年1回	H24年度版	学修及び学生生活に関する規程及び手続方法を掲載	
	理学部案内(学部別入試入学者用)	年1回	H24年度版	学部別入試により入学した1年次用の学修及び学生生活に関する規程並びに理学部からの周知事項を掲載	
	大学院学生便覧	年1回	H24年度版	学修及び学生生活に関する規程及び手続方法を掲載	
	SYLLABUS 平成24年度大学院入学者のための授業内容	年1回	H24年度版	理学院開講科目の授業内容を掲載	
	北海道大学大学院理学院数学専攻	年1回	H24年6月	数学専攻スタッフ一覧、専門紹介、修士課程の履修について掲載	
	Hokkaido Mathematical Journal(紀要)	年3回	H24年10月	研究論文	
	数学科目ガイド	不定期	H23年4月	数学科の学部学生向け科目案内(全学教育科目、専門科目)	
	Hokkaido University Preprint Series in Mathematics	不定期	H24年10月	研究論文速報(HPにて公開)	
	Hokkaido University Technical Report Series in Mathematics	不定期	H24年8月	研究集会、特別講演等、本学で講演されたもののアブストラクト集(HPにて公開)	
	北海道大学理学部数学科ガイド	年1回	H24年6月	新1年生向け数学科の案内	
	北海道大学理学部化学科パンフレット	不定期	H24年9月	化学科の研究室・研究内容等の紹介	
	Annual Report 2010(化学専攻)	年1回	H24年7月	各研究室の研究業績・外部資金獲得状況等の紹介、各種大学院教育プログラム実績の紹介	
	物理学部門年次報告書	年1回	H24年2月	1.部門の活動一覧、2.各研究グループの成果報告	
	北海道大学理学部生物科学科(生物学)学科案内	年1回	H24年6月	高校生・一般向け講座紹介、入学から卒業までの過程、授業内容、高校生一日入学紹介、教員名簿、卒業後の進路(過去3年間)を掲載	

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
理学院・理学研究院・理学部	北海道大学理学部生物科学科（生物学）広報	年1回 （漸次更新）	H24年4月	高校生・一般向け講座紹介、教員紹介、各種お知らせ、いきものがたり、生物学者列伝、入学から卒業までの過程、授業内容等を掲載（HPにて公開）
	北海道大学理学部生物科学科（高分子機能学）パンフレット	年1回	H24年6月	学科内容、研究室等の紹介
	北海道大学大学院理学院宇宙物理学専攻専攻案内	年1回	H24年6月	専攻内容の紹介
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻概要	不定期	H23年6月	専攻の組織、カリキュラム、講座紹介・教員紹介等を掲載
	北海道大学理学部地球惑星科学科	不定期	H23年4月	学科内容の紹介
	北海道大学地球物理学研究報告	年1回以上	H23年3月	研究論文の発表
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻地球惑星ダイナミクス講座	不定期	H22年6月	ダイナミクス講座の研究教育活動及び構成員名簿を掲載
	International Graduate Program in the Natural History Sciences (I-NHS)	不定期	H21年3月	ダイナミクス講座、システム講座、地震火山学講座の大学院国費留学生制度の募集案内
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻地球惑星システム科学講座	不定期	H23年6月	システム科学講座の研究教育活動及び構成員名簿を掲載
	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター	不定期	H23年4月	学部学生を対象として、沿革、分野の紹介等、センターの概要を掲載
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター2009年度年報	年1回	H23年1月	センターとしての活動・研究活動・教育活動及び構成員名簿を掲載	
薬学研究院・薬学部	生命科学の最先端へ	年1回	H24年7月	学部紹介パンフレット
	北海道大学薬学部学生便覧	年1回	H24年度版	学修及び学生生活に必要な事項を掲載（H24年度学科分属者用及び学部移行者用）
	北海道大学薬学部講義要項（全学教育科目）	年1回	H22年度版	全学教育科目の授業内容を掲載
	北海道大学薬学部講義要項（専門科目）	年1回	H24年度版	専門科目の授業内容を掲載（H24年度学科分属者用及び学部移行者用）
	北海道大学大学院薬学研究所・薬学部外部点検評価報告書	不定期	H19年2月	点検評価
	北海道大学大学院薬学研究院・薬学部自己点検評価報告書	不定期	H22年3月	点検評価
農学院・農学研究院・農学部	北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院・農学部概要	年1回	H24年度版	農学研究院・農学院・農学部の沿革等の概要を掲載（和文・英文併記）
	北海道大学大学院農学研究院・農学部広報	不定期	H22年3月	農学研究院・農学部のニュース、お知らせ等を掲載
	北海道大学大学院農学研究院邦文紀要	年2回	H24年3月	農学研究院・農学部の学術研究論文誌
	Journal of the Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University （北海道大学大学院農学研究院欧文紀要）	年1回	H23年2月	農学研究院・農学部の学術研究論文誌
	北海道大学大学院農学研究院邦文紀要別冊「農経論叢」	年1回	H24年3月	農業経済に関する学術研究論文誌
	Insecta Matsumurana	年1回	H24年10月	昆虫学に関する学術研究論文誌
	北海道大学大学院農学院学生便覧	年1回	H24年4月	大学院生の授業・学生生活に関する説明
	北海道大学農学部学生便覧（2年次進級者用）	年1回	H24年4月	学部生の授業・学生生活に関する説明
	農学部授業要綱集（専門科目）	年1回	H24年4月	学部専門科目の紹介
	農学院授業要綱集	年1回	H24年4月	大学院授業科目の紹介
	SCHOOL OF AGRICULTURE	不定期	H23年7月	各学科・附属施設の内容紹介（冊子）
	北海道大学農学部 SCHOOL OF AGRICULTURE	不定期	H24年7月	各学科・附属施設の内容紹介（リーフレット）
生命科学院・先端生命科学研究院	北海道大学大学院先端生命科学研究院・生命科学院概要	年1回	H24年度版	沿革、組織、職員数、学生数、外部資金等を掲載
	北海道大学大学院生命科学院平成21年度 外部評価委員会評価報告	不定期	H22年3月	中期計画期間終了に伴う自己点検評価及び外部評価
	次世代ポストゲノム研究センター	不定期	H19年9月	構成、沿革、関連研究室紹介、研究機器の説明等を掲載
	次世代ポストゲノム研究センター Annual Report 2011年度	年1回	H24年7月	研究活動、研究業績、研究資金等を掲載
	生命科学院学生便覧	年1回	H24年度版	学修及び学生生活に関する規程及び手続方法等を掲載
	SYLLABUS 平成24年度大学院入学者のための授業内容	年1回	H24年度版	生命科学院開講科目の授業内容を掲載
	北海道大学大学院生命科学院パンフレット	年1回	H24年度版	大学院受験生への学院紹介、研究概要、入試概要、施設・設備紹介
	北海道大学 大学院生命科学院 生命医薬科学コース	年1回	H24年度版	コース概要（2012-2013）
	北海道大学 大学院生命科学院 生命融合科学コース パンフレット	年1回	H24年5月	コース概要
	北海道大学 大学院生命科学院 生命システム科学コース	年1回	H23年度版	コース概要
教育学院・教育学研究院・教育学部	北海道大学大学院教育学研究院・大学院教育学院・教育学部概要	年1回	H20年度版	沿革、組織、学生数、研究グループの紹介等を掲載
	北海道大学教育学部案内	年1回	H24年度版	各研究グループの紹介、開講科目一覧、学生の声、卒業生の声、国際交流状況等を掲載
	北海道大学大学院教育学院入学案内	年1回	H24年度版	各研究グループを紹介
	北海道大学教育学部・北海道大学大学院教育学院便覧	年1回	H24年度版	履修上の注意、学生生活上の注意、その他学生として知っておかなければならない事項を掲載

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
教育学院・教育学研究院・教育学部	北海道大学教育学部・北海道大学大学院教育学院シラバス	年1回	H24年度版	講義題目、開講時期、担当教員名、授業科目のねらい、授業内容、成績評価の方法等を掲載
	北海道大学教育学部有識者懇談会報告書－第三者点検評価報告書－	不定期	H16年2月	研究・教育・管理運営面について、各界の有識者と教員との意見交換の内容を掲載
	教育学研究院フォーラム－自己点検・評価報告書－	不定期	H21年3月	研究・教育・管理運営面について、教員間の意見交換の内容を掲載
	北海道大学大学院教育学研究院紀要	年2回	H24年8月	研究の成果を論文として掲載
	教育学への誘い	年1回	H24年度版	教育学概説の概要
	教育史・比較教育論考	年1回	H22年6月	教育史・比較教育研究の成果の公刊
	自己点検・評価報告書－中期目標・中期計画の中間報告－(2004～2006年度)	不定期	H19年6月	2004年度から2006年度の間の中期目標・中期計画の中間報告書
	北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター案内	不定期	H19年5月	附属子ども発達臨床研究センターの概要・研究内容を紹介
	教育福祉研究	年1回	H23年11月	教育福祉研究グループの研究内容を掲載
	教授学の探究	年1回	H23年2月	教育研究内容を基軸とした教授学研究
	社会教育研究	年1回	H24年3月	社会教育研究の成果の公刊
	公教育システム研究	年1回	H24年5月	教育行政学グループの研究内容を論文等で掲載
	子ども発達臨床研究	年1回	H21年3月	附属子ども発達臨床研究センターの活動及び研究成果を論文として掲載
	「調査と社会理論」研究報告書	不定期	H21年3月	教育社会学・社会学の理論及び社会調査に関わる論文・報告を掲載
	発達学習支援ネットワーク研究	不定期	H19年3月	発達・学習支援ネットワークの構築に関する研究成果の公刊
北海道大学教職課程年報	年1回	H24年3月	北海道大学教職課程に関連した調査研究及び授業実践等に関する論文や各種資料を掲載	
全学教育科目・体育学A履修の手引き	年1回	H24年4月	履修の目的と構成、履修方法・受講時間割・担当教員名・体育における安全・入学生の体力等を掲載	
国際広報メディア・観光学院 メディア・コミュニケーション研究院	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院概要	年1回	H24年4月	学院の沿革、組織、職員数等の概要を掲載
	国際広報メディア・観光学ジャーナル	年1回	H24年3月	教員の教育・研究成果の公表、博士後期課程学生の研究発表
	学生便覧	年1回	H24年度版	履修及び学生生活に必要な事項を掲載
	シラバス(マスター)	年1回	H24年度版	授業内容の詳細
	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻	不定期	H22年4月	観光創造専攻の紹介
	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 国際広報メディア専攻 観光創造専攻(リーフレット)	年1回	H24年度版	学院の紹介、入試日程概要
	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 国際広報メディア専攻 観光創造専攻(リーフレット)中国語版	年1回	H24年度版	学院の紹介、入試日程概要(中国語版)
	メディア・コミュニケーション研究	年2回	H24年5月	教員の研究報告
大学院メディア・コミュニケーション研究院 研究叢書	年2回	H20年3月	教員の研究報告	
保健科学院・保健科学研究院	北海道大学大学院保健科学研究院・大学院保健科学院・医学部保健学科概要	年1回	H24年度版	保健科学研究院・保健科学院・医学部保健学科の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載
	北海道大学大学院保健科学研究院広報「プラテュス」	年2回	H24年9月	保健科学研究院・保健科学院・医学部保健学科のニュース、トピックス、お知らせ等を掲載
	北海道大学大学院保健科学院保健科学専攻案内	隔年	H24年度版	受験生向け専攻案内
	北海道大学大学院保健科学院学生便覧	年1回	H24年度版	保健科学院院生便覧、規程等を掲載
	北海道大学大学院保健科学院授業概要(シラバス)	年1回	H24年度版	保健科学院専攻共通基礎科目及びコース別専門科目シラバス
	北海道大学大学院保健科学院・医学部保健学科FDワークショップ報告書	年1回	H24年9月	保健科学院・医学部保健学科で実施したFDワークショップの報告書(メール配信のほか、冊子を10部ほど作成)
工学院・工学研究院・工学部	北海道大学大学院工学研究院・工学院・工学部概要(和文)	年1回	H24年度版	沿革、組織、職員数等、工学研究院・工学院・工学部の概要を掲載
	北海道大学大学院工学研究院・工学院・工学部概要(英文)	年1回	H22年度版	沿革、組織、職員数等、工学研究院・工学院・工学部の概要を掲載
	北海道大学大学院工学研究院・工学院広報誌「えんじにあRing」	年4回	H24年10月	工学研究院・工学院の研究紹介、ニュース等を掲載
	研究業績	年1回	H19年6月	研究業績の紹介
	北海道大学総合若手人材育成事業平成23年度活動報告書および外部評価報告書	1回	H24年3月	人材育成本部と実施している総合若手人材育成事業の報告書(活動、外部評価)
	北海道大学工学系教育研究センター活動報告書および外部評価報告書	隔年	H22年3月	工学系教育研究センターの報告書(活動、外部評価)
	北海道大学工学系教育研究センターリーフレット(和文)	不定期	H23年3月	工学系教育研究センターの紹介

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
工学院・工学研究院・工学部	北海道大学工学系教育研究センターリーフレット(英文)	不定期	H23年3月	工学系教育研究センターの紹介
	北海道大学大学院工学院学生便覧	年1回	H24年4月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載
	北海道大学大学院工学院授業計画(シラバス)	年1回	H24年4月	大学院学生用のシラバス
	北大工学部のすべて(学部紹介パンフレット)	年1回	H23年4月	工学部への入学を目指す高校生を対象に、工学部の概要、特に4学科16コースの内容を中心に紹介
	Girls, Be ambitious!	不定期	H23年4月	工学部への入学を目指す女子学生を対象に、工学部を紹介するパンフレット
	「想像を超えた未来を創造する」(学部紹介リーフレット)	不定期	H22年3月	工学部への入学を目指す高校生を対象に、工学部の4学科の概要・研究紹介を掲載したリーフレット
	就職に強い!工学部	年1回	H24年2月	工学部・工学系大学院の就職状況を紹介
	北海道大学工学部学生便覧	年1回	H24年4月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載
	北海道大学工学院英語特別コースパンフレット(英文)	年1回	H24年9月	工学分野リーダー育成英語特別コース(e3)の概要紹介
	工学系連携推進部(リーフレット)	不定期	H20年9月	工学系連携推進部の紹介
	北海道大学工学部 情報エレクトロニクス学科(パンフレット)	年1回	H24年4月	工学部情報エレクトロニクス学科の紹介
	北海道大学大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センターパンフレット(和文/英文)	隔年	H24年10月	センターの沿革、組織、研究内容、業績等統計を掲載
	北海道大学大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター年報	年1回	H23年12月	センターの機構・組織、研究内容、研究成果を掲載
	北海道大学大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センターマルチビーム超高压電子顕微鏡(パンフレット)	不定期	H22年4月	超高压電子顕微鏡及び周辺機器の仕様、研究例、沿革等を掲載
北海道大学エネルギー変換マテリアル研究センター外部中間評価報告書	1回	H20年3月	H19年11月開催の外部中間評価概要、評価資料、外部委員による評価	
総合化学院	北海道大学大学院総合化学院(パンフレット)	不定期	H22年6月	総合化学院のコース及び講座の概要、授業科目を掲載
	北海道大学大学院総合化学院英語版(パンフレット)	不定期	H23年10月	総合化学院のコース及び講座の概要、授業科目を掲載
	学生便覧	年1回	H24年度版	総合化学院の行事予定、履修・学位取得・学生生活に関する事項、規程関係等を掲載
	授業計画(シラバス)	年1回	H24年度版	開講科目、実行教育課程表、授業の目標、到達目標、授業計画、成績評価の基準と方法等を掲載
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部	学生便覧(公共政策大学院)	年1回	H24年3月	授業日程、学内規程や履修方法の周知及び学生生活全般の案内
	講義要領(公共政策大学院)	年1回	H24年3月	開講科目一覧、授業内容、教材・評価方法等の案内
	Hokkaido University Public Policy School	年1回	H24年3月	公共政策大学院の教育プログラム、教員の紹介、入試制度等を掲載
	外部評価委員会評価報告書	不定期	H22年3月	公共政策学連携研究部・教育部の外部評価報告書
北海道大学病院	北海道大学病院概要	年1回	H24年度版	診療実績等の概要を掲載
	北海道大学医学部附属病院自己点検・評価報告書	不定期	H13年3月	新しい世紀に向けた、1998~2000年における報告書
	フォーラム北大病院	不定期	H16年2月	院内の診療活動、研究等を掲載
	医師卒後臨床研修プログラム	年1回	H25年度版	臨床研修プログラムを掲載(H18年度版よりパンフレット形式)
	歯科医師卒後臨床研修プログラム	年1回	H24年度版	臨床研修プログラムを掲載
	北海道大学病院 地域医療連携福祉センター ニュースレター	年2回	H24年5月	各診療科外来診療等紹介や院内の最新情報等を掲載
	自立した専門医を育むオール北海道プラス14大学連携および教育病院共有化による地域大学循環型専門研修プログラムパンフレット	年1回	H24年度版	事業内容等を掲載
低温科学研究所	北海道大学低温科学研究所概要	隔年	H23年7月	研究所の沿革、組織、職員数等の概要を掲載
	北海道大学低温科学研究所紹介ビデオ(日本語・英語版)	1回	H8年7月	研究所の研究内容等を紹介
	北海道大学低温科学研究所紹介DVD(日本語版・英語版)	1回	H12年3月	研究所の研究内容等を紹介
	北海道大学低温科学研究所年次自己点検評価報告書-年報-	年1回	H24年7月	研究所の活動状況、研究成果、自己点検評価の結果を掲載(年報)
	北海道大学低温科学研究所外部点検評価報告書	不定期	H19年3月	研究所の組織及び運営、教員人事、研究活動、大学院教育及び社会教育等の外部評価を掲載
	低温研ニュース	年2回	H24年6月	研究紹介、シンポジウム報告、共同研究、人事異動等を掲載
	環オホーツク観測研究センターリーフレット(日本語版)	不定期	H21年12月	環オホーツク観測研究センターの研究内容を紹介
	研究所で学びたい学生のための低温科学研究所ガイド[分野別ピックアップ]	不定期	H23年7月	研究所の研究内容を紹介
電子科学研究所	北海道大学低温科学研究所[ダイジェストガイド]	不定期	H23年11月	研究所の歴史、最新の研究内容、組織を紹介
	北海道大学電子科学研究所(概要)	隔年	H24年7月	研究所の沿革、組織、職員数等の概要を掲載
	北海道大学電子科学研究所(パンフレット)	不定期	H24年6月	学生向け研究所案内
	研究活動-点検評価報告書-	年1回	H23年10月	研究所の研究成果・活動、国際交流、教育活動等を掲載

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
遺伝子病制御研究所	北海道大学遺伝子病制御研究所概要	隔年	H24年9月	目的と使命、沿革、歴代所長・施設長及び名誉教授、機構、職員、研究活動、共通施設、教育活動、北海道大学配置図を掲載
	北海道大学遺伝子病制御研究所年報	年1回	H23年2月	総論、機構、経費、研究活動、教育活動、研究支援組織、教員人事、各種委員会等を掲載
	北海道大学遺伝子病制御研究所外部評価報告書	不定期	H16年3月	理念、管理運営機構、教員の選考方法、教員の流動性、予算関係、教育活動、教育業績、国際貢献、研究支援体制を掲載
	IGM News Letter	不定期	H24年7月	ニュース、お知らせ、研究業績紹介、新任教員紹介等を掲載
触媒化学研究センター	触媒化学研究センター外部点検評価報告書	不定期	H21年4月	センター外の委員で組織された委員会による点検評価報告
	触媒化学研究センター概要	年1回	H24年7月	センターの沿革、組織、研究概要を掲載（英文併記）
	触媒化学研究センター年報	年1回	H24年9月	沿革、組織、研究活動状況、教育活動状況を掲載
スラブ研究センター	SLAVIC RESEARCH CENTER HOKKAIDO UNIVERSITY (概要)	不定期	H21年11月	センターの沿革、組織、職員紹介、研究活動等を掲載
	北海道大学スラブ研究センターニュース	年4回	H24年8月	センターの最新の研究・行事・人事等の活動状況を掲載
	スラブ研究センターを研究する（北海道大学スラブ研究センター点検評価報告書）	3年に1回	H18年3月	センターの自己点検評価報告、外部評価報告、活動記録報告
	ACTA SLAVICA IAPONICA (欧文学術雑誌)	年2回	H24年9月	投稿論文を欧文で掲載（レフェリー制）
	スラブ研究（和文学術雑誌）	年1回	H24年6月	投稿論文を和文で掲載（レフェリー制）
	スラブ・ユーラシア研究報告集	不定期	H24年3月	研究報告会等での報告抄録等を掲載
	Slavic Research Center News	年1回	H24年2月	センターの研究・行事・人事等の活動状況を欧文で掲載
	Slavic Eurasian Studies (欧文論集)	不定期	H23年9月	シンポジウムのペーパー等を欧文で掲載
	比較地域大国論集	不定期	H24年8月	新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」に関する報告抄録等を掲載
	Eurasia Border Review	不定期	H24年10月	グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」に関する報告抄録等を掲載
	境界研究	年1回	H23年11月	グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」に関する投稿論文を和文で掲載（レフェリー制）
	スラブ研究センター・レポート	不定期	H23年3月	研究報告会等での報告抄録等を掲載（WEB版）
スラブ・ユーラシア研究者名簿	不定期	H24年3月	スラブ・ユーラシア地域研究者の名簿	
情報基盤センター	情報基盤センター外部評価報告書	不定期	H19年3月	センター外の委員で組織された委員会による点検評価報告
	情報基盤センター概要	年1回	H23年10月	センターの沿革、組織、研究概要を掲載
	情報基盤センター概要（英語版）	隔年	H24年7月	センターの沿革、組織、研究概要を英文で掲載
	情報基盤センター年報	年1回	H23年11月	センターの沿革、組織、研究活動状況、教育活動状況を掲載
	大型計算機システム（iiC-HPC）ニュース	年4回	H24年7月	大型計算機システムに関する情報提供
	HINES-WORLD	隔年	H22年4月	情報ネットワーク利用案内
	教育情報システム概要	不定期	H19年4月	教員向け教育情報システム利用の案内
	教育情報システム 利用規則および適正利用の手引き	年1回	H24年4月	教育情報システム規則及び利用の手引き
	教育情報システム 教育情報システムELMS	年1回	H24年4月	教育情報システム利用の案内
ELMSサイトライセンスソフトウェアのご利用案内	年1回	H24年4月	ELMSサイトライセンスソフトウェアに関する利用の案内	
アイソトープ総合センター	センター概要	不定期	H24年1月	センターの施設案内、沿革等を掲載
	アイソトープ総合センター利用案内	隔年	H23年4月	センターの利用に関する規程等、利用に関する情報をわかりやすく掲載
	北海道大学アイソトープ総合センター自己点検・評価報告書	年1回	H24年8月	センターの利用状況、共同研究一覧、活動報告等を掲載
	センターニュース（CIS NEWS）	年1回	H24年3月	センターの最新機器の紹介、講義、講習会のお知らせ等のニュースを掲載
総合博物館	第1期学術資料展示パンフレット（アイランド・アーク）	1回	H14年3月	第1期学術資料展示の概要及び展示学術標本資料を詳細に紹介
	重要文化財札幌農学校第2農場パンフレット（見学者配付用資料）	1回	H16年度	重要文化財札幌農学校第2農場を見学者に紹介
	Where northern land and ocean meet Island Arc -Rocks, Minerals, Ore Deposits, Fossils, Strata, and Their History-	1回	H16年3月	第1期学術資料展示パンフレット（アイランド・アーク）の英語版
	総合博物館展示リーフレット（見学者配付用資料）	1回	H24年9月	総合博物館常設展示の各展示ゾーン紹介・利用案内を見学者に紹介
	An Introduction to The Hokkaido University Museum	1回	H20年6月	総合博物館常設展示の各展示ゾーン紹介・利用案内を見学者に紹介（リーフレット）
	北海道大学総合博物館概要	年1回	H23年度版	博物館の目的・沿革・組織・教育研究活動内容等を掲載
	北大歴史展示概要 (英語版・中国語版・韓国語版)	1回	H15年度	北大歴史展示の概要
	北海道大学総合博物館外部点検評価報告書(2010)	不定期	H23年3月	外部点検評価委員会による総合博物館の評価
北海道大学総合博物館点検評価報告書(2004-2006年度)	1回	H19年7月	北海道大学総合博物館点検評価委員会委員による総合博物館の評価	

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
総合博物館	北海道大学総合博物館研究報告	年1回	H21年12月	研究報告 No1(2003.3), No2(2004), No3(2006), No4(2008.3), No5(2009.12)
	北海道大学総合博物館年報	年1回	H24年3月	博物館及び博物館教員の活動記録 H16年度(2006.1.31) H18・19年度(2008.12.1) H20・21年度(2012.3.1)
	北海道大学総合博物館ニュース	年2回	H24年8月	博物館の活動状況・出来事・ニュース・特別寄稿等を掲載 No.1(1999.7)-25(2012.8)
	北大理学部教授室N123 中谷宇吉郎研究室	1回	H16年3月	「北大理学部教授室N123 中谷宇吉郎研究室」 復元展示の図録
	北海道大学キャンパス 台風18号の爪痕	1回	H16年12月	平成16年9月8日の台風18号襲来直後の北大札幌キャンパスにおける被害状況の記録
	北海道大学の学問の系譜 - 北大学派の学風 -	1回	H17年3月	北大学派をつくった研究者たちを紹介
	北海道大学に通底する精神と教育思想の歴史	1回	H17年6月	札幌農学校時代から現在に至るまで北海道大学に通底する精神・教育思想の歴史を紹介
	エコキャンパス読本<改訂版> - 植物篇 付・鳥類リスト -	1回	H21年3月	北大キャンパスで見られる植物を紹介
	北大エコキャンパス読本<改訂版> - 考古学編 -	1回	H23年3月	遺跡群から見た北大キャンパス周辺域の歴史
	北大エコキャンパス読本-植物園編-	1回	H22年2月	北大植物園で見られる植物を紹介
	北大エコキャンパス読本-建築遺産編-	1回	H23年3月	北大キャンパスの歴史や歴史的建物、建築に関わった人々についての一端を紹介
	バラタクソノミスト養成講座・ガイドブック	10回	H21年3月～ H23年3月	バラタクソノミスト養成講座の教材 シリーズ1:昆虫(初級)採集・標本作製編 シリーズ2:きのこ(初級・中級)ハラタケ目編 シリーズ3:DNA(初級)編 シリーズ4:植物(初級)採取・標本作製編 シリーズ5:土器(初級)土器の観察・記録編 シリーズ6:土壌ダニ(初級・中級)採取・標本作製編 シリーズ7:鉄器の観察・記録・保存法(初級)編 シリーズ8:マルハナバチ属昆虫(中級)編 シリーズ9:石器(初級)編 シリーズ10:鉦床(中級)鉦床鉦物の観察・同定編
	魚類の多様性	1回	H16年2月	第5回企画展示 「魚類の多様性-5億年の進化の歴史-」の図録
	きのこの自然史	1回	H16年3月	第7回企画展示「きのこの自然史」の図録
	内田正練とその時代	1回	H17年4月	第20回企画展示「内田正練とその時代-日本にクロールがもたらされた頃-」の図録
	北大樺太研究の系譜 サハリンの過去・現在・未来	1回	H18年6月	第30回企画展示 北海道大学創基130周年記念企画展示 「北大樺太研究の系譜～サハリンの過去・現在・未来～」の図録
	北海道大学の山小屋	1回	H18年5月	第33回企画展示 北海道大学創基130周年記念企画展示 「北大の山小屋展」の図録
	モンゴル大恐竜 ゴビ砂漠の大型恐竜と鳥類の進化	1回	H18年7月	第35回企画展示 「モンゴルの恐竜-大型恐竜と鳥類の進化-」の図録
	北大千島研究の系譜 千島列島の過去・現在・未来	1回	H19年2月	第43回企画展示 北海道大学創基130周年記念企画展示 「北大千島研究の系譜～千島列島の過去・現在・未来～」の図録
	『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画 ファーブルにまなぶ	1回	H19年6月	第46回企画展示『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画 「ファーブルにまなぶ」の図録
	『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画 ファーブルにまなぶ プチガイド	1回	H19年7月	第46回企画展示『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画 「ファーブルにまなぶ」の子供向けガイド
	水産科学館分館化・水産学部創基100周年 記念 水産科学館に蓄積された水産学部100 年の歴史	1回	H20年3月	第52回企画展示「水産科学館分館化・水産学部創基 100周年記念 水産科学館に蓄積された水産学部100年 の歴史」の図録
	ライマンと北海道の地質 - 北からの日本地質学の夜明け -	1回	H20年8月	第57回企画展示「ライマンと北海道の地質」の図録
	洞爺湖・有珠火山地域の環境と資源 Environment and Resources of Lake Toya and Usu Volcano Area	1回	H20年6月	第58回企画展示 2008年G8洞爺湖サミット関連 「洞爺湖・有珠火山地域の環境と資源」の図録
	カレル・チャペック その生涯と時代 没後70周年展 1890-1938	1回	H20年10月	第60回企画展示「カレル・チャペック 1890-1938 その 生涯と時代 没後70周年展」の図録
	teetasinrit tekrukoci 先人の手あと 北大所蔵アイヌ資料-受けつぐ技-	1回	H21年2月	第63回企画展示「teetasinrit tekrukoci」の図録
	北大分類学の系譜	1回	H21年8月	第65回企画展示「生物多様な部屋」の図録
TOYOJI HIKATA Photo Exhibition	1回	H21年10月	第66回企画展示「疋田豊治ガラス乾板写真展」の図録	
マキシモヴィッチ・長之助・宮部	1回	H22年3月	第69回企画展示 「花の白露交流史-幕末の箱館山を見た男」の図録	
アラスカの恐竜	1回	H22年7月	第70回企画展示 「アラスカの恐竜-アジアをめざした生命」の図録	
わが街の文化遺産 札幌軟石	1回	H23年3月	第70回企画展示「わが街の文化遺産 札幌軟石 歩いた！探した！見つけた！」の図録	

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等	
総合博物館	豊平川と私たち	1回	H23年3月	第73回企画展示「豊平川と私たち—その生いたちと自然」の図録	
	「チョウとガ」が超わかる本	1回	H23年6月	第76回企画展示レビドプテラ「空を舞う昆虫たち—チョウとガの世界」ブチガイド	
	クラーク博士と札幌の植物	1回	H24年3月	第77回企画展示「クラーク博士と札幌の植物」の図録	
量子集積エレクトロニクス研究センター	北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター(概要・和文)	不定期	H24年10月	センターの目的, 組織, 研究内容等を掲載	
	北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター(概要・英文)	不定期	H24年10月	センターの目的, 組織, 研究内容等を掲載	
	量子集積エレクトロニクス研究(研究報告)	年1回	H24年6月	センターの研究目的, 組織, 研究内容, 施設・設備と, 研究活動及び研究成果の報告	
	量子集積エレクトロニクス研究センター国際セミナー予稿集	隔年	H24年3月	センター主催で開催する国際セミナー論文集	
北方生物圏	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター概要	不定期	H22年2月	沿革, 組織, 研究内容等の概要を掲載	
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター年報	年1回	H24年2月	各施設の教育・研究動向, 職員の研究業績一覧, 施設の利用状況等を掲載	
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター News Letter	年複数回	H24年7月	センターの活動紹介, イベントなどのお知らせ, ショートエッセイ等を掲載	
	森林圏ステーション	演習林研究報告	年2回	H24年3月	森林科学関連分野及び森林圏ステーション関連の研究論文(和文)を掲載。国内外の関係機関等にも送付
		Eurasian Journal of Forest Research	年2回	H24年8月	「演習林研究報告」の英語論文分冊。国内外の関係機関等にも送付
		森林圏ステーション年度報告	年1回	H23年11月	森林圏ステーション管理面の資料を掲載
		北方森林保全技術	年1回	H23年11月	森林圏ステーション技術系職員が試験年報報告会で発表した論文等を掲載。国内の関係機関等にも送付
		森林圏ステーション概要	不定期	H16年9月増刷	施設の紹介
	圃場	北海道大学生物生産研究農場概要	不定期	H14年9月	農場の沿革, 部門紹介, 組織等の概要を掲載
		北海道大学生物生産研究農場研究報告	隔年	H17年12月	農場を利用した研究の報告
		北海道大学北方生物圏フィールド科学センター耕地圏ステーション生物生産研究農場(概要パンフレット)	不定期	H14年3月	農場の沿革, 組織等の概要を掲載
		北海道大学北方生物圏フィールド科学センター耕地圏ステーション生物生産研究農場余市果樹園(リーフレット)	不定期	H16年1月	余市果樹園の解説
		北海道大学北方生物圏フィールド科学センター生物生産研究農場技術業務報告	年1回	H21年3月	農場における圃場管理や家畜飼養に関する技術業務を掲載
		北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園(概要パンフレット)英語併記	不定期	H20年9月	植物園の沿革, 組織等の概要を掲載
		植物園だより(リーフレット)	年6回	H23年10月	園内植物の解説
		北海道大学植物園(リーフレット)	年1回	H23年8月	植物園内の解説
		北海道大学植物園(リーフレット)英語版	年1回	H20年10月	
		北海道大学植物園(リーフレット)中国語版	年1回	H20年10月	
		北海道大学植物園(リーフレット)韓国語版	年1回	H20年10月	植物園の活動内容
		北大植物園技術報告・年次報告	年1回	H24年3月(第9号)	
MIYABEA sive Illustrated Flora of Hokkaido		不定期	H11年10月(No.4)	研究報告	
北大植物園研究紀要		年1回	H23年12月(No.11)	研究報告	
北大植物園資料目録		年1回	H20年9月(No.6)	資料目録	
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター静内研究牧場研究報告	不定期	H13年3月	牧場を利用した研究の報告		
水圏ステーション	全国大学水産実験所要覧	不定期	H18年10月	施設の概要, 地域の環境, 教育・研究活動, 交通, 職員, 利用手続きを掲載	
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭臨海実験所概要	不定期	H11年4月	施設の概要(施設紹介, 沿革, 利用方法, 所在地, 研究内容等)	
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭臨海実験所要覧	不定期	H19年4月	施設の要覧(施設紹介, 沿革, 研究内容, 所員名, 出版物, 施設設備, 利用方法等)	
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所報告	隔年	H19年3月	所員及び研究目録, 業績目録, 科学研究費等補助金, 利用者リスト及び研究, 利用状況, 利用者業績目録, 教育・社会教育活動, 気象・海洋観測データ(各内容を英語及び日本語で掲載)	
脳科学研究教育センター	北海道大学脳科学研究教育センター概要	不定期	H24年3月	センターの組織, 発達脳科学専攻(バーチャル専攻)の概要等を掲載	
人獣共通感染症リサーチセンター	北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター(日本語・英語版)	不定期	H23年10月	人獣共通感染症リサーチセンターの概要を掲載	

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
大学図書館	北海道大学大学図書館年報	年1回	H24年3月	研究論文、資料紹介・目録、業務記録等を掲載
	北海道大学大学図書館資料叢書	不定期	H22年3月	資料翻刻、解説等を掲載
	北海道大学大学図書館リーフレット	不定期	H23年7月	大学図書館の概要、所蔵資料の紹介、利用に関する案内等を掲載
	学内文書・資料の移管・保存ガイド	不定期	H18年12月	大学図書館における学内文書・資料の移管・整理・保存の流れ、利用に関する案内等を掲載
	個人資料の整理・保存・活用ガイド	不定期	H21年3月	大学図書館における個人資料の受贈・整理・保存・活用の流れ等を掲載
観光学高等研究センター	観光学高等研究センター	不定期	H23年3月	観光学高等研究センターの紹介
外国語教育センター	HOKKAIDO UNIVERSITY CENTER FOR LANGUAGE LEARNING	不定期	H21年4月	外国語教育センターの紹介
アイヌ・先住民研究センター	アイヌ・先住民研究センター案内(パンフレット)	不定期	H24年6月	アイヌ・先住民研究センターの役割、特徴及び同センターで実施するプロジェクトを紹介
	2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書 現代アイヌの生活と意識	不定期	H22年3月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査に関する報告書
	Report on the 2008 Hokkaido Ainu Living Conditions Survey	不定期	H22年3月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査に関する報告書の英語版
	沖縄におけるガイドツアーの運営実態に関する事例調査	不定期	H23年3月	アイヌ・先住民研究センターがエコツーリズム・プロジェクトの一環として実施した事例調査の報告書
	北海道大学アイヌ・先住民研究センターニューズレター	年2回	H24年6月	アイヌ・先住民研究センターが実施した講演会等の内容、各研究事業の成果及び今後のイベント等を紹介
社会科学実験研究センター	北海道大学社会科学実験研究センター自己点検評価	年1回	H24年7月	社会科学実験研究センターの概要、教育研究活動の実績、組織構成を掲載 センターHPよりダウンロード可能
	北海道大学社会科学実験研究センター案内(パンフレット)	不定期	H22年3月	社会科学実験研究センターの概要、実験室等の研究設備とその利用状況、研究成果を紹介
情報法政策学研究センター	知的財産法政策学研究	不定期	H24年9月	知的財産法政策学研究に関する研究報告
	新世代法政策学研究	不定期	H24年7月	新世代法政策学に関する研究報告
数学連携研究センター	RCIM LETTERS	不定期	H23年12月	研究レポート、数学連携サロニ記録、委員名簿等を掲載
探索医療教育研究センター	北海道大学探索医療教育研究センター(リーフレット)	不定期	H23年9月	センターの組織、役割、構成員等の概要を掲載
保健センター	保健管理センター年報	不定期	H24年4月	4年間(H19~22年度)の随想、学会・講演会報告、調査報告、研究業績等を掲載(2011)
	保健管理センター点検評価報告書	不定期	H17年3月	4年間(H12~15年度)のセンター点検評価の状況を取りまとめ掲載(2004)
	北海道大学 健康道場	不定期	H20年3月	健康について身に付けて欲しい知識や考え方・行動を保健管理センター教員担当の全学講義「なぜ病気になるのか? -治療医学から予防医学へ」に基づいてまとめたもの
	ほけかんだより	年10~12回	H24年7月	健康診断・診療に関するお知らせ・ニュース、健康に関わる情報を掲載
産学連携本部	産学官連携のしおり	年1回	H24年9月	産学連携本部の業務内容説明及び産学官連携のための案内
	北海道大学 産学連携本部	年1回	H24年8月	産学連携本部の概要紹介
人材育成本部	上級人材育成ステーション S-cubic	不定期	H24年3月	S-cubicの事業紹介
	S-cubic通信	不定期	H24年3月	DC・PDを対象とした進路選択のガイドブック
	上級人材育成ステーション HoP-Station	不定期	H24年3月	HoP-Stationの事業紹介
創成研究機構	北大リサーチ&ビジネスパーク	不定期	H21年6月	北キャンパスに立地する各研究機関・施設(学外設置分含む)の紹介
	同位体顕微鏡システム	不定期	H24年10月	文部科学省:先端研究施設共用促進事業「安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション」事業の紹介及び利用募集
	同位体顕微鏡	不定期	H21年8月	文部科学省:先端研究施設共用促進事業「安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション」事業における冨本教授のインタビュー(リテラポブリ29号を元に作成)
	共用機器管理センター	不定期	H22年8月	創成研究機構共用機器管理センターの紹介
	北の創成力。	不定期	H24年1月	創成研究機構の活動紹介
	創成ニューズレター CRIS TIMES	不定期	H24年3月	創成研究機構の活動紹介
	北海道大学 創成研究機構	不定期	H24年2月	創成研究機構の組織紹介
	オープンファシリティ	不定期	H24年3月	創成研究機構オープンファシリティの紹介
	北大を特徴づける研究機関 創成研究機構 構成組織	不定期	H24年7月	創成研究機構各構成組織の紹介及び研究・活動内容の紹介
国際本部	北海道大学留学生センター案内	随時	H11年10月	北海道大学留学生センターの概要を掲載(業務内容・スタッフ・施設・設備・組織図)
	北海道大学留学生センター年報	年1回	H24年3月	日本語教育部・留学生指導部・短期留学部活動報告、授業実施報告、留学生センター研修事業等を掲載
	北海道大学留学生センター紀要	年1回	H23年12月	研究論文、研究ノート
	北海道大学留学生センター外部評価報告書	不定期	H14年3月	北海道大学留学生センターの外部点検評価結果

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等		
国際 際 本 部	国際連携課	北海道大学概要（英語版）	年1回	H24年度版	本学の沿革、組織、職員数等、大学の概要を掲載	
		Hokkaido University Magazine（英語版）	年1回	H24年1月	本学のニュースを掲載	
		Hokkaido University Magazine（中国語版）	年1回	H24年1月	本学のニュースを掲載	
		Campus Guide Map （北海道大学キャンパスガイドマップ 英語版、中国語版、韓国語版）	年1回	H23年10月	本学の地図、沿革、組織等、概要を掲載	
		北海道大学職員の英会話集	不定期	H15年3月	英会話及び用語集を掲載	
		北海道大学職員の英会話集CD	不定期	H13年3月	英会話及び用語集をCD化	
		北京オフィス リーフレット （日本語版、中国語版）	不定期	H22年10月	北京オフィスの施設案内	
		ソウルオフィス リーフレット （日本語版、韓国語版）	不定期	H23年8月	ソウルオフィスの施設案内	
		ヘルシンキオフィス リーフレット （英語版）	不定期	H24年6月	ヘルシンキオフィスの施設案内	
		ルサカオフィス リーフレット（英語）	不定期	H24年8月	ルサカオフィスの施設案内	
		北海道大学概要（中国語版）	不定期	H24年8月	中国人留学生向けの大学案内	
		HOKKAIDO UNIVERSITY A BRIEF SKETCH（英語版）	不定期	H23年7月	留学説明会向けの大学案内	
		HOKKAIDO UNIVERSITY A BRIEF SKETCH（中国語版）	不定期	H23年7月		
		HOKKAIDO UNIVERSITY A BRIEF SKETCH（韓国語版）	不定期	H23年7月		
		Alternative University Appraisal (AUA) Project	不定期	H24年4月	北海道大学がリーダーとなり海外他大学と共同で推進したESD評価に関するプロジェクトの成果報告	
		外国人留学生のための北海道大学案内 （INFORMATION FOR INTERNATIONAL STUDENTS）	年1回	H24年3月	留学を希望する海外の学生等向けに、入学手続・奨学金等の一般的な情報を掲載	
		国際支援課	HANDBOOK FOR INTERNATIONAL STUDENTS	年1回	H24年9月	在学中の留学生に必要な手続き及び生活情報を提供
			Hokkaido University Short-Term Exchange Program（シラバスを含む）	年1回	H23年12月	北海道大学短期留学プログラムHUSTEPの紹介及び開講科目の授業内容等を掲載
			サマーセッション報告書	隔年	H23年9月	サマーセッション・プログラム参加学生・ホストファミリー・授業担当教員のプログラムに対する感想・アンケート等を掲載
	北海道大学国際交流科目		年2回	H24年10月	北海道大学国際交流科目の講義内容等を掲載	
	北海道大学留学生センター 日本語授業概要		年2回	H24年10月	北海道大学留学生センター日本語授業の講義内容等を掲載	
	留学しよう！ 北大生のための留学ハンドブック		年1回	H24年3月	北大生のための留学情報提供誌	
	留学生指導教員のための留学生支援ガイド		随時	H23年3月	指導教員のための留学生指導ハンドブック	
	ビデオ（HOKKAIDO UNIVERSITY GUIDANCE FOR STUDENTS FROM OVERSEAS）		随時	H9年	新規渡日留学生に対し、大学の研究内容・生活を紹介	
	HANDBOOK FOR INTERNATIONAL RESEARCHERS		不定期	H24年2月	在学中の研究者に必要な手続き及び生活情報を提供	
	高等教育推進機構	高等教育ジャーナル －高等教育と生涯学習－ ニュースレター	年1回	H24年1月	広く高等教育に関する論文・報告等を公開	
			年4回	H24年7月	高等教育推進機構の活動を報告	
	サステイナブル キャンパス 推進本部	環境保全センター	Sustainable Initiative	不定期	H23年4月	サステイナブルキャンパス推進本部発足の経緯、組織概要、業務内容、本学の目指すサステイナブルキャンパスについて掲載
			2010年度環境報告書	年1回	H24年10月	本学の環境に配慮した活動等をまとめ、2011年度の環境に関連する教育研究活動やエネルギー・水等の使用量の状況を掲載
			2010年度環境報告書（英語版）	年1回	H24年10月	環境報告書の日本語版を8頁にまとめた海外向けの報告書
		環境保全センター（概要）	不定期	H15年3月	センターの沿革、組織、業務、廃液の処理過程等を紹介	
		環境保全センター報	年1回	H23年2月	センターの活動報告と環境安全問題についての寄稿文を掲載	
	埋蔵文化財調査室	北海道大学埋蔵文化財調査室ニュースレター	年3回	H24年3月	構内の遺跡、埋蔵文化財調査室の活動内容を紹介	
北大構内の遺跡		年1回	H24年3月	北大構内（札幌キャンパス）における埋蔵文化財の調査報告		
人文・社会科学総合教育研究棟地点発掘調査報告書		1回	H17年3月	人文・社会科学総合教育研究棟地点における埋蔵文化財の調査報告		
工学部共用実験研究棟地点発掘調査報告書		1回	H23年3月	工学部共用実験研究棟地点における埋蔵文化財の調査報告		

(総務企画部広報課)

編集メモ

● 今号の表紙は、1955年頃の北13条通りです。「北大時報」No.699（平成24年6月号）及びNo.700（平成24年7月号）の表紙と同様、本学卒業生である上田茂穂様が在学中に撮影された写真です。

● 北13条通りは、黄葉の季節に黄金色に輝く“イチョウ並木”として全国的に有名となりました。1939（昭和14）年5月に道路の両側に植樹されてから16年ほど経ったこの景色のイチョウは成長途中であり、現在のイチョウ並木とは異なった印象を受けるのではないのでしょうか。（関連記事6頁）



2011. 10. 7 白老町

北の息吹 **67** センブリ (*Swertia japonica*)

先月号のチシマセンブリよりは暖かいところを好む種で、全国的に分布するが道内では道南と胆振地方に限定される。20cmにも達しない細身の草丈に沢山の花をつける。花弁状に5深裂した裂片には紫色のすじがあり上品な感じがするが、その基部に白い毛の生えた2つの蜜腺があるのが少し興ざめという感じ。一方、蕾は赤紫色が主体で鮮やかな白いすじがみえて美しい。

本州では11月にも咲いているが道内では10月半ばまでの花であり、それでも北海道でもっとも遅咲きの野草としてファンが多い。古来から胃腸薬として使われてきたが、和名は千回振りだしてもまだ苦いことによるのはよく知られている。

前理事・副学長 岡田 尚武

北大時報 ⑪ No.704 平成24年11月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
TEL : (011) 706-2610 / FAX : (011) 706-4870 / E-mail : kouhou@jimuhokudai.ac.jp
北大時報はインターネットでもご覧いただけます。http://www.hokudai.ac.jp/bureau/populi/